

2014～2016年度入学者用

(学生証番号の先頭2桁が「14」「15」「16」の学生用)

キャリアデザイン学部 2014～2016年度入学者 カリキュラム

カリキュラム
2014～2016年度入学者用

重要！ 卒業要件や履修科目は、入学年度によって異なります。
必ず自分が該当するページを見てください。

★カリキュラム以外にも、「キャリアデザイン学部生共通項目」や、
「市ヶ谷共通項目」のページがありますので、併せて確認してください。

卒業するためには

卒業して学士（キャリアデザイン学）の学位を得るために、在学年限内に市ヶ谷基礎科目と専門科目について下記の単位規定をすべて満たさなければなりません。

卒業所要単位（2014～2016年度入学者用）

科目系列		必要単位数				
市ヶ谷基礎科目	0群	必修（基礎ゼミ）	2単位	2単位以上	市ヶ谷基礎科目・専門科目合計 132単位以上	
		選択				
	1群		4単位以上	20単位以上		
	2群		4単位以上			
	3群		4単位以上			
	4群	英語	4単位以上	8単位以上		
		選択（諸外国語）	4単位以上			
		選択外国語				
	5群（体育）		2単位以上			
専門科目	基幹科目	必修 (キャリアデザイン学入門)	2単位	20単位以上		
		選択必修 (キャリア研究調査法)	2単位以上			
		選択必修 (入門系科目)	8単位以上*1			
		選択				
	展開科目		52単位以上 (*1で選択した領域から、36単位以上含む) (体験型選択必修科目4単位(1ペア)以上含む)			
	演習科目 *2					
	関連科目					
	他学部公開科目					
	ERP科目*4					
	ESOP科目*4					
	グローバル・オープン科目					
自由科目 *3	インターン・ボランティア*4					
	短期語学研修*4					

*1 基幹科目の入門系科目のうち、「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」から1つの領域を選択し、その選択した領域で8単位を修得しなければなりません。

*2 基幹科目（入門系科目）および展開科目で選択した領域と同じ領域を選択しなければなりません。

*3 自由科目は卒業所要単位として16単位まで修得可能です。

*4 グローバル教育センター設置科目です。必要手続きを経て単位認定を行います。

- 注意**
1. 学部専門科目は、基幹科目、展開科目、演習科目、関連科目に大別され、科目群によっては必修科目や選択必修科目があります。必修科目はすべて単位を修得しないと卒業の要件を満たしません。選択必修科目とは、予め指定された科目群の中から所定の単位数以上の修得が条件とされている科目のことです。
 2. 市ヶ谷基礎科目と学部専門科目のそれぞれ最低必要単位数を合計すると108単位（=36+72）になります。卒業所要総単位数との差24単位（=132-108）については、市ヶ谷基礎科目、専門科目（学部専門科目および自由科目）のいずれから修得しても構いません。
 3. 休学者の進級および卒業については別掲「市ヶ谷共通項目」の「学籍」のページを確認してください。

4. 3年次終了までに卒業所要単位を修得していても、4年次に4単位以上を修得しなければ卒業することはできません。(進級に関する規程参照)

5. 必要単位数欄が空欄になっている系列の科目は、仮に単位の修得がなくとも他の系列の科目によって右側に示されている必要単位数を修得していれば卒業の要件を満たせることを表しています。

(※)前ページの「卒業所要単位」の表は各「科目系列」ごとに科目を履修し合計して何単位取得すると卒業要件を満たすかを示したものです。さらにそれらの科目のうちに4単位分の「体験型選択必修科目」を含んで履修し単位を取得することも併せて卒業要件となっています。それらの科目は後述の「体験型選択必修科目」一覧表に示すものですが、春学期・秋学期とも表に示した科目をペアで、かつ「事前指導」や「I」を先に履修し単位を修得した後「実習」や「II」を履修しそれぞれ2単位、合計4単位取得することが卒業要件となります。これらのペア科目は定員を定めています。年度初めのガイダンスに出席し、履修希望申請書を必ず提出してください。これらのペア科目は2年次から履修できます。できるだけ他の学部専門科目の履修に影響が少ない2年次に履修することを推奨します。

「体験型選択必修科目」一覧

年次	春学期+秋学期 でペアとなる科目		定員 (予定)
	春学期科目名 (各2単位)	秋学期科目名 (各2単位)	
2年～	キャリアサポート事前指導	キャリアサポート実習	20×4クラス
	キャリア体験事前指導	キャリア体験学習	25×4クラス 32×1クラス
	キャリア体験事前指導(国際)	キャリア体験学習(国際)	10×2クラス
	多文化教育I	多文化教育II	50
	メディアリテラシー実習I	メディアリテラシー実習II	16
	地域学習支援I	地域学習支援II	35

進級するためには

キャリアデザイン学部において進級するためには、各年次2セメスター在学し、各年次で下記の単位規定を満たさなければなりません。1単位でも不足したり間違いがあったりすると、進級できないので注意してください。

進級に関する規程 (キャリアデザイン学部)

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに24単位以上修得していかなければならない。

第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。

ただし、SSⅠ所属学生は第1号のみ適用する。

(1) 第2年次修了までに48単位以上

(2) 基幹科目の必修科目(キャリアデザイン学入門)

第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。

(1) 市ヶ谷基礎科目のうち4群及び5群の卒業所要単位

(2) 前号の単位を含め88単位以上

第4条 4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。但し、法政大学学則第49条第4項に定める場合を除く。

第5条 進級は学年度初め(4月1日付)をもって行う。

*進級に関する修得単位数に教職・資格科目(卒業要件外科目)は含みません。

<参考>

法政大学学則第49条

第49条 4カ年以上在学し、卒業所要単位を修得した者には、学士の学位を与え学位記を授与する。

2 前項の卒業の要件を充たした者の学位記授与は学年末に行う。但し、本人の申請により春学期末に行うことができる。

3 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学し、第1項の卒業の要件を充たした者の学位記授与は春学期末に行う。但し、本人の申請により秋学期末に行うことができる。

4 第1項の規定にかかわらず、3カ年以上在学し、卒業所要単位を優秀な成績で修得した者は学士の学位を与え、学位記を授与することができる。

5 前項の早期卒業に関する要件は別に定める。

6 前5項における卒業の確定日は、学年末は3月24日とし、春学期末は9月15日とする。

(以下、省略)

早期卒業について

キャリアデザイン学部早期卒業に関する規程（規定第927号）第2条

第2条 早期卒業を認める学生は、次の各号に定める要件を全て満たしていなければならない。

(1) 3年次終了時までに卒業所要単位を取得し、かつGPAが3.0以上の者。

(2) 専門科目および市ヶ谷基礎科目の修得科目のうち、それぞれ9割以上がA評価以上であること。

(3) 3年次に演習（発達・教育）（ビジネス）（ライフ）を履修、修得していること。

(4) 卒業論文に準ずる論文や作品等を執筆または制作し、高い評価を得た者。

早期卒業の手続きスケジュール等

～10月下旬 早期卒業申請受付

12月中旬 卒業論文に準ずる論文・作品提出

* 4年生の卒業論文提出期間と同様

2月上旬 早期卒業希望者に対する面接（口頭試問）

3月上旬 面接（口頭試問）の結果通知

* 4年生の卒業発表期間と同様

3月24日 条件を満たした場合、卒業

* 詳細は掲示等でお知らせします。

履修登録について

履修に際しては、自分が関心を持つテーマに関連した学問分野の科目の単位を、確実にしかも段階を追って修得していくことが必要です。市ヶ谷基礎科目の中には、学部の専門科目を学ぶ上で前提になるような基本的内容を取り上げている科目があります。また、学部科目の中にも、科目間の履修順序を守る必要がある科目があります。「法政大学webシラバス」で各科目の内容説明を読み、自分にとってどの順番でそれぞれの科目を履修していくのが適切であるのかを、考えてください。

具体的な履修の計画をする前に、キャリアデザイン学部主催の各学年向け履修ガイダンスに必ず出席し説明を受けてください。さらに毎年4月に行われる履修相談会を活用して履修計画を立てることもできます。キャリアデザイン学部独自の制度として、学部生は、「キャリアアドバイザー」と呼ばれる学部専門職員に履修に関する相談をすることができます。個別に履修相談がしたい場合は、キャリアアドバイザールーム（富士見坂校舎3階）のキャリアアドバイザーに相談してください。



法政大学webシラバス

1 登録制度とは

単位を修得するためには、指定の期日までに履修したい科目を登録する、「履修登録」という手続きを確実に行わなければなりません。履修登録は春学期・秋学期セメスター開始時の年2回行います。この履修登録はとても重要で、登録を怠った場合は当該セメスターの単位の修得はできず留年となることもあります。また、登録エラーがあった場合、放置したままにすると登録自体が無効となり単位の修得ができません。

みなさんが履修登録の意思表示をした科目はコンピューター処理され、履修が手引きどおりになされているか判定されます。エラーを完全になくさないと正式な登録となりませんので、必ずこの手引きをよく読み、エラーを出さないよう注意してください。ただし、コンピューター処理をしているといっても、すべて細かい部分まで完全に判定はできないこともあります。登録した科目に間違いかないか、履修条件に合っているかは、各自で必ず確認しなければなりません。

履修登録についての詳細は、法政ポータルサイト(Hoppii)内の学部web掲示板等にてお知らせしますので必ず確認してください。

学則第22条 学生は、履修しようとする授業科目を毎年所定の期間内に届け出て、承認を得なければならぬ。

学則第39条 新入生で指定された期日までに履修届を提出しない等、その他本学において修学する意志がないと認められる者は教授会の議を経て除籍する。

期限までに登録しない場合、当該セメスターの受験資格が認められず単位の取得ができないばかりか除籍となることもあります。十分注意してください。

2 履修登録前の準備（必ず行ってください）

キャリアデザイン学部では、一部の抽選科目を除き、履修登録期間よりも先に授業が始まります。まずは履修したい科目を学習支援システムに仮登録し、授業に臨んでください。学習支援システムには法政ポータルサイト(Hoppii)からアクセスすることができます。学習支援システムに仮登録することで、その授業に関するお知らせや教材の参照、休講や教室変更等の連絡を受け取ることができます。履修したい授業はすべて仮登録することを忘れないでください。

ただし、学習支援システムへの仮登録は履修登録とは異なります。あくまで、履修登録期間に履修登録をしないと単位が修得できませんので注意してください。

3 履修登録のしかた

学習支援システムへの登録は、あくまでも仮登録です。法政ポータルサイト(Hoppii)から情報システムにアクセスし、履修登録を行ってください。また、履修登録前には必ず「Web履修ガイド」(学部Web掲示板に記載)を読んでください。法政ポータルサイト (Hoppii) のURL、QRコードは以下のとおりです。

<https://hoppii.hosei.ac.jp>



法政ポータルサイト (Hoppii)

履修登録期限については、つぎのことに注意が必要です。

- ・掲示された期日までに、必ず自己自身で申請してください。
- ・履修登録期間中に病気や不可抗力の事故等のため履修登録ができなかった場合には、診断書等の証明書をつけ、キャリアデザイン学部窓口に申し出てください。連絡や正当な理由がなく期日に遅れた場合、登録の申請は受けつけません。

履修登録期間後に、日時・時間を勘違いしていた、忘れていた、(締切間際にログインして) PC・システム等の操作方法がわからなかった、あるいはアルバイトがあったからといったような理由での事後登録もしくは登録内容の変更は一切認められません。

履修登録については、卒業・進級に關係してくる重大な事項ですので、必ず所定期間内に登録内容を確認し、手続きを完了させるようにしてください。

4 履修登録の確認

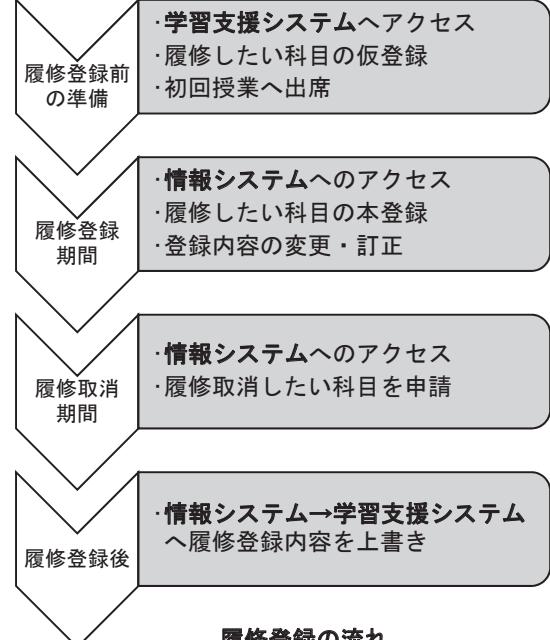
登録した内容を確認するために履修登録科目確認通知書を各自で印刷し、保管してください。履修登録科目確認通知書は、正確に登録されたかを本人が確認する手段となります。履修登録科目の確認を怠ったために、登録ミスに気づかず修得単位ゼロという例も毎年少なからずあります。自己責任が原則です。

5 履修登録の訂正

履修登録期間内は何度でも科目を変更することができますが、登録期限後は科目の変更はできません。

登録にミスがあり、登録ができない場合はミスをした部分の訂正をしないと履修登録が完了しません。

また、エラーの修正が遅れると教員へ渡す受講者名簿に名前が載らず出席をとてもらえないなどの不利益が生



じる恐れがあります。

6 履修取消

登録期間後でも、一定期間内に申し出れば登録を取り消すことができます。登録取消の期間については、学部web掲示板で確認してください。

7 登録単位制限と重複登録について

登録できる単位数には、セメスター・年次ごとに上限があります。この制限を超えて登録すると、「登録ミス」となり、すべての科目的履修登録が無効となりますので、注意が必要です。

＜注意＞

- ・履修登録をしていない科目・曜日・時限の授業へ出席したり、試験を受けたりしても単位の修得はできません。
- ・大学から成績や緊急の連絡等に関する重要書類を郵送することがありますので、転居した際は必ず住所変更の手続きをとってください。
- ・留年および復学・復籍した場合、学生証番号・所属クラスが変更になる場合があります。留年・復学・復籍した当該年次のカリキュラムにもとづいて、登録してください。

履修登録が可能な単位数について

履修登録には次のようなルールがあります。

履修登録を怠ったり履修エラーを未修正で放置したりすると授業・試験を受けても単位は修得できませんので、注意してください。

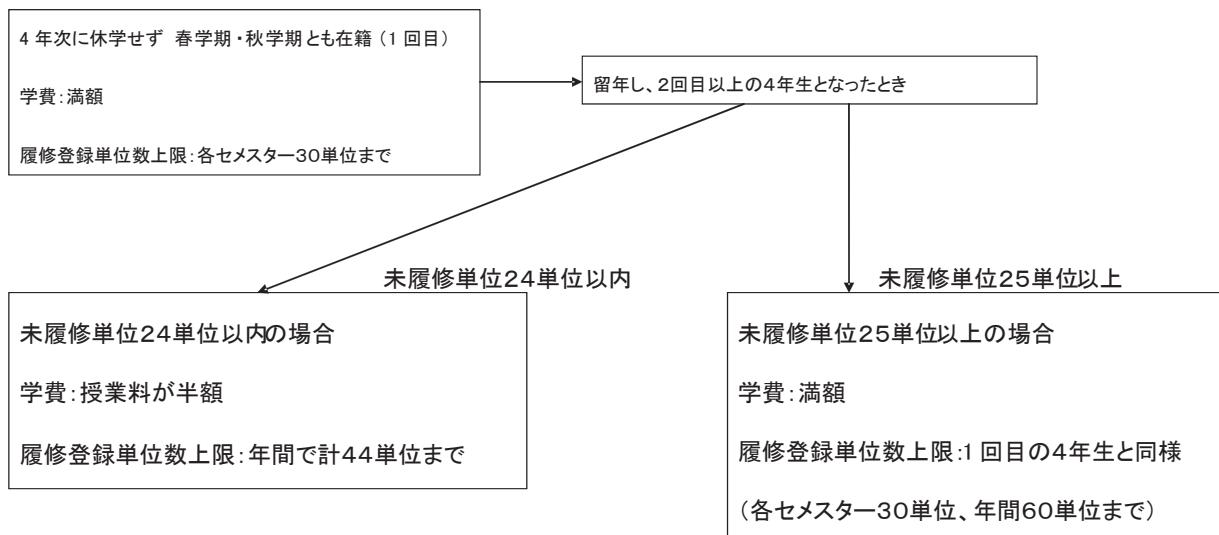
2014年度～2016年度入学者

4年次においてセメスターを2期在籍した学生で、留年して2回目以降4年生になった場合に履修登録できる単位数

(1) 未履修単位24単位以内の場合：年間で計44単位まで

(2) 未履修単位25単位以上の場合：各セメスターおよび年間の履修制限単位数まで

4年次においてセメスターを2期在籍した学生で、留年して2回目以降の4年生になった場合の学費および履修できる単位は、次のとおりです。



1 セメスター・年間の登録上限単位

各セメスターに履修登録できる単位数には上限があります。単位は週あたりの学習時間によって決められています。それゆえ、一定の期間に無制限に単位修得できるわけではありません。

キャリアデザイン学部では、各セメスターおよび年間（2つのセメスター）での履修登録において、科目の系列ごとに登録単位の上限を設けています。

なお、年間科目（2つのセメスターにまたがる科目）については春学期セメスターでのみ履修登録ができ、春学期の履修上限に含めて計算されます。

2 単位数上限について

①市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目を除く）

原則として1年春学期は24単位まで履修登録が可能です。

1年秋学期以降は、それぞれが修得した（S～C-までの評価を得た）単位数によって履修登録できる単位数の上限が決まります。ただし、いずれの場合でも、履修登録できる単位数は合計で半期30単位・年間で48単位が上限です

②専門科目（関連科目）

上記①とあわせて半期30単位・年間で48単位を上限として履修登録することができます。

③教職・資格科目を履修する場合

上記①②の履修登録単位数とあわせて各セメスターで30単位まで履修登録できます。

※S S I コース生は

- 【A】：市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目も含む）で半期30単位、年間48単位まで履修登録できます。
 【B】：【A】 + 卒業所要単位外の教職・資格科目で半期30単位、年間60単位まで履修登録できます。

3 1年次春学期（1セメスター）に履修登録できる単位数

- ①市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目を除く）は1年次春学期で24単位まで履修登録できます。あわせて、
 ②専門科目（関連科目）および③教職・資格科目を履修したい場合は、①とあわせて合計30単位まで履修登録できます。

①市ヶ谷基礎科目と専門科目(関連科目を除く)	②関連科目	③教職・資格科目 (教職資格課程表で■科目)
← 24単位まで →		
← ①と②で合計30単位まで →		
← ①と②と③で合計30単位まで →		

* ①と②合計で、年間では48単位までの登録となります。（例：春学期に30単位登録した場合、秋学期は18単位まで）

* 1年次秋学期以降は上記表の通りにはなりません。個人別で状況が異なりますので、各自で計算してください。

4 1年次秋学期（2セメスター）以降に履修登録できる単位数

履修制限単位数表（2014年度～2016年度入学者用）

The diagram illustrates the 'Limitation of Credit Hours Table' for students admitted from 2014 to 2016. It is divided into three main categories: ① 市ヶ谷基礎科目と専門科目 (関連科目除く), ② 関連科目, and ③ 卒業所要単位外の教職課程・資格課程科目. The total limit for each semester is indicated by a dashed line and the formula ①+②+③.

	1年次		2年次		3年次		4年次			
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期		
市ヶ谷基礎科目+専門科目（関連科目除く）	1セメスター 累積上限単位数	24	2セメスター 3セメスター	42	66	84	108	126	150	168
	当セメスター履修登録可能単位数	24	42-★	66-★	84-★	108-★	126-★	150-★	168-★	

★は、前セメスター終了時までに修得した(A+～Cの評価を得た)市ヶ谷基礎科目と専門科目(関連科目除く)の単位の合計です。
(ただし各セメスターとも30単位が上限です)

各セメスターの履修上限単位数

①市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目を除く）の履修登録上限単位数を考える場合

上記①枠内の表を参照

②関連科目を履修する場合の履修登録上限単位数を考える場合

上記①で算出した単位数と専門科目の関連科目（②）で半期30単位、年間48単位まで

③教職・資格科目を履修する場合の履修登録上限単位数を考える場合

上記表①+②+③で、半期30単位、年間60単位まで

※S S I コース生は

【A】：市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目も含む）で半期30単位、年間48単位まで履修登録できます。

【B】：【A】+卒業所要単位外の教職・資格科目で半期30単位、年間60単位まで履修登録できます。

5 留年した場合に履修登録できる単位数

留年した年次の春学期セメスターの上限単位を適用します。「履修制限単位数表」を参照してください。

6 クラス指定・定員のある科目について

以下の科目は、原則としてクラス指定もしくは定員制が設けられているので、必ずしも希望通りの時間に履修できるとは限りません。

- (1) 市ヶ谷基礎科目4群の必修外国語は、指定されたクラスで受講してください。
- (2) 市ヶ谷基礎科目4群の選択外国語は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (3) 市ヶ谷基礎科目5群の科目は、通常授業のクラス指定か集中授業のいずれかになります。
- (4) 市ヶ谷基礎科目3群のサイエンス・ラボA/Bは、受講者数に制限があります。
- (5) I L A C科目のうち、履修者が大人数となる授業については抽選があります。詳細については学部- (20) ページからの案内を読んでください。
- (6) 入門系の授業の受講は、クラス指定されている場合があります。
- (7) 国際コミュニケーション語学は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (8) 情報実習室を使用する授業は、受講者数に制限があります。
- (9) 体験型選択必修科目は受講者数に制限があります。
- (10) 上記以外にも受講制限を行う場合があります。選抜方法の詳細についてはweb掲示板や講義概要（シラバス）を参照してください。

キャリアデザイン学部 カリキュラム構成図(2014~2016年度入学者用)

市ヶ谷基礎科目					
0群 基礎ゼミ 情報処理演習 日本語の世界 I・II キャリアデザイン入門 キャリアデザイン演習 就業基礎力養成 I・II 法政学への招待 法政学の探究A・B	1群 文学 I・II 倫理学 I・II 日本史 I・II 東洋史 I・II 西洋史 I・II 哲学 I・II 論理学 I・II 宗教論 I・II 文章論 I・II 芸術 I・II	2群 法学 I・II 法學(日本国憲法) 経済学 I・II 心理学 I・II 地理学 I・II 政治学 I・II 社会学 I・II 文化人類学 I・II 社会思想 I・II	3群 教養数学A・B 基礎数学 I・II 原子から宇宙まで I・II 物質と環境 I・II サイエンス・ラボA・B 生命科学 I・II 科学史 I・II 天文学 I・II 発展数学 I・II	4群 英語 ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 スペイン語 朝鮮語 日本語	5群 スポーツ総合演習
基幹科目					
キャリア研究調査法(質的調査) キャリア研究調査法(量的調査) キャリアデザイン入門 発達・教育キャリア入門A・B	発達・教育キャリア入門C(生涯学習入門 I) 発達・教育キャリア入門D(生涯学習入門 II) ビジネスキャリア入門A～D ライフキャリア入門A～D	労働法 ファシリテーション論 若者の自立支援 職業選択論 I	ライフコース論 生活設計論 I(社会保障) 生活設計論 II(生活設計) キャリアモデル・ケーススタディ		
展開科目					
展開科目 キャリアサポート事前指導 キャリアサポート実習 多文化教育 I・II	キャリア体験事前指導 キャリア体験学習 キャリア体験事前指導(国際) キャリア体験学習(国際)	メディアリテラシー実習 I・II 地域学習支援 I・II	メディアリテラシー実習 I・II 地域学習支援 I・II		
発達・教育キャリア キャリア研究調査実習A キャリア研究調査実習B 外書講読A(発達・教育) 外書講読B(発達・教育) 生涯発達心理学 I・II 臨床教育相談論 I・II キャリアカウンセリング I・II キャリアカウンセリングIII(ケーススタディ) 教育相談 教育心理学	ビジネスキャリア キャリア研究調査実習C キャリア研究調査実習D 外書講読A(ビジネス) 外書講読B(ビジネス) 職業選択論 II 人材育成論 I・II 産業・組織心理学 I・II キャリア開発論 リーダーシップ論 経営統計論A(心理データ)	ライフキャリア キャリア研究調査実習E キャリア研究調査実習F 外書講読A(ライフ) 外書講読B(ライフ) コミュニケーション社会論 I・II 家族論 若者文化論 世代間交流論 身体表現論 地域文化論 アイデンティティ論 余暇集團論			
学校論 I(キャリア形成) 学校論 II(キャリア形成) 学校論 III(キャリア教育) 学校論 IV(キャリア教育) 生涯学習論 I(生涯学習支援論 I) 生涯学習論 II(生涯学習支援論 II) 図書館情報学概論 I・II メディア教育論 I・II 教育マネジメント I・II	企業会計論 経営統計論B(企業データ) 経営組織論 I・II 戦略経営論 I・II 経営分析論 I・II アントレプレナーシップ論 I・II	NPO論 公共サービス論 アート・マネジメント論 文化経営論 メディア文化論 文化マーケティング論 ブランド創造論 産業文化論 ミュージアム概論 ミュージアム経営論			
教育政策 現代教育思想 生涯学習論 III(成人教育論 I) 生涯学習論 IV(成人教育論 II) 学習の社会史A・B 教育社会学 I・II 教育経済学	職業キャリア論 労働経済学 シティインシップ論 生産システム論 国際経営論 日本経済論 産業論 広告ビジネス論 マーケティング論 流通・マーケティング戦略論 流通・サービスビジネス論 就業機会発見実務	多文化社会論 I・II・III アジア社会論 I・II 国際関係論 I・II 国際地域研究 I・II			
総合	就業機会とキャリア 職業能力ベーシックスキル I・II				
演習科目					
演習(発達・教育、ビジネス、ライフ)	卒業論文(発達・教育、ビジネス、ライフ)	キャリアデザイン学総合演習			
関連科目					
国際コミュニケーション語学(英語 I～V) 国際コミュニケーション語学(中国語 I・II) 日本語教育概説 多文化社会における日本語教育A～E スタディ・アブロード I～IV 就業機会とキャリア特講 地域活性論 就業応用力養成 I・II 財務会計論 I・II 監査論 I・II 税務会計論 I・II	管理会計論 I・II 原価計算論 I・II 経営分析 I・II 異文化適応論 市民社会と政治 労働環境法 社会貢献・課題解決教育 教職入門 教育原理 教育の制度・経営 教育課程論	社会・地歴科教育法 社会・公民科教育法 商業教育法 道徳教育指導論 特別活動論 教育方法論 生徒・進路指導論 図書館演習 図書館制度・経営論 図書館サービス概論	児童サービス論 情報サービス論 情報サービス演習 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論 情報資源組織論 情報資源組織演習 学校経営と学校図書館 学校指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用 学校図書館メディアの構成	ミュージアム資料論 ミュージアム教育論 ミュージアム資料保存論 ミュージアム展示論 ミュージアム情報・メディア論 博物館実習 I・II 社会教育計画 社会教育演習 社会教育活動 I・II 職業指導(仕事の場と学び) 現代生活・文化と社会教育 I・II	
自由科目					
他学部公開科目	ESOP科目	ERP科目	グローバル・オープン科目	インターン・ボランティア	短期語学研修

2014～2016年度入学者用
カリキュラム

市ヶ谷基礎科目 カリキュラム表 (2014~2016年度入学者用)

科目ナンバリング	科 目 名	履修年次	単位数	必要数	備 考
0群	BSP100LA リベラルアーツ特別講座	1~4年	2	2単位必修	2020年度新規開講
	SOW100LA等 課題解決型フィールドワーク	1~4年	1または2		2019年度新規開講
	BSP100LA 基礎ゼミ	1~4年	2		できる限り1年次で履修すること
	PRI100LA 情報処理演習	1~4年	2		2020年度より春学期のみ開講
	ARSe100LA 日本語の世界 I	1~3年	2		留学生のみ
	ARSe100LA 日本語の世界 II	1~3年	2		
	CAR100LA キャリアデザイン入門	1年	2		2018年度新規開講
	CAR100LA キャリアデザイン応用	1~4年	2		2018年度より開講
	- キャリアデザイン演習	1年	2		2018年度より開講
	- 就業基礎力養成 I	1~4年	2		2018年度より開講
	- 就業基礎力養成 II	1~4年	2		2019年度より「法政学への招待」から名称変更
	IDN100LA 大学を知ろう <法政学>への招待	1~4年	2		秋学期開講
	IDN100LA 法政学の探究A	1~4年	2		春学期開講
	IDN100LA 法政学の探究B	1~4年	2		
1群	LIT100LA 文学 I	1~4年	2	0~5群合計で36単位以上(注・卒業要件は専門科目と合計で132単位以上)	
	LIT100LA 文学 II	1~4年	2		
	PHL100LA 哲學 I	1~4年	2		
	PHL100LA 哲學 II	1~4年	2		
	HIS100LA 日本史 I	1~4年	2		
	HIS100LA 日本史 II	1~4年	2		
	HIS100LA 東洋史 I	1~4年	2		
	HIS100LA 東洋史 II	1~4年	2		
	HIS100LA 西洋史 I	1~4年	2		
	HIS100LA 西洋史 II	1~4年	2		
	PHL100LA 哲學 I	1~4年	2		
	PHL100LA 哲學 II	1~4年	2		
	PHL100LA 論理学 I	1~4年	2		
	PHL100LA 論理学 II	1~4年	2		
	PHL100LA 宗教論 I	1~4年	2		
	PHL100LA 宗教論 II	1~4年	2		
	BSP100LA 文章論 I	1~4年	2		
	ART100LA 芸術 I	1~4年	2		
	ART100LA 芸術 II	1~4年	2		
2群	LAW100LA 法学 I	1~4年	2	4単位以上	
	LAW100LA 法学 II	1~4年	2		
	LAW100LA 法学(日本国憲法)	1~4年	2		
	ECN100LA 経済学 I	1~4年	2		
	ECN100LA 経済学 II	1~4年	2		
	PSY100LA 心理学 I	1~4年	2		
	PSY100LA 心理学 II	1~4年	2		
	GEO100LA 地理学 I	1~4年	2		
	GEO100LA 地理学 II	1~4年	2		
	POL100LA 政治学 I	1~4年	2		
	POL100LA 政治学 II	1~4年	2		
	SOC100LA 社会学 I	1~4年	2		
	SOC100LA 社会学 II	1~4年	2		
	CUA100LA 文化人類学 I	1~4年	2		
	CUA100LA 文化人類学 II	1~4年	2		
	SOS100LA 社会思想 I	1~4年	2		
	SOS100LA 社会思想 II	1~4年	2		
3群	MAT100LA 教養数学A	1~4年	2	4単位以上	
	MAT100LA 教養数学B	1~4年	2		
	MAT100LA 基礎数学 I	2~4年	2		
	MAT100LA 基礎数学 II	2~4年	2		
	PHY100LA 原子から宇宙まで I	1~4年	2		
	PHY100LA 原子から宇宙まで II	1~4年	2		
	CHM100LA 物質と環境 I	1~4年	2		
	CHM100LA 物質と環境 II	1~4年	2		
	NAS100LA サイエンス・ラボA	1~4年	2		
	NAS100LA サイエンス・ラボB	1~4年	2		
	BIO100LA 生命科学 I	1~4年	2		
	BIO100LA 生命科学 II	1~4年	2		
	SHS100LA 科学史 I	1~4年	2		
	SHS100LA 科学史 II	1~4年	2		
	ASR100LA 天文学 I	1~4年	2		
	ASR100LA 天文学 II	1~4年	2		
	MAT200LA 発展数学 I	2~4年	2		
	MAT200LA 発展数学 II	2~4年	2		

※同名科目（同名でもⅠとⅡでは異なる科目です）は、同セメスターで1科目2単位までしか履修できません。また、一度単位を修得した科目は、次セメスター以降重複して履修登録できません。

カリキュラム 2014～2016年度入学者用

※同名科目は、同セメスターで1科目1単位までしか履修できません。また、一度単位を修得した科目は、次セメスター以降重複して履修登録できません。

	科目ナンバリング	科目名	履修年次	単位数	必要数	備考
(必4群修)	LANe100LA	英語1-I	1年	1	4単位	
	LANe100LA	英語1-II	1年	1		
	LANe100LA	英語2-I	1年	1		
	LANe100LA	英語2-II	1年	1		
4群(選択)必修	LAND100LA	ドイツ語1-I	1年	1	いづれかの言語で4単位	
	LAND100LA	ドイツ語1-II	1年	1		
	LAND100LA	ドイツ語2-I	1年	1		
	LAND100LA	ドイツ語2-II	1年	1		
	LANf100LA	フランス語1-I	1年	1		
	LANf100LA	フランス語1-II	1年	1		
	LANf100LA	フランス語2-I	1年	1		
	LANf100LA	フランス語2-II	1年	1		
	LANr100LA	ロシア語1-I	1年	1		
	LANr100LA	ロシア語1-II	1年	1		
	LANr100LA	ロシア語2-I	1年	1		
	LANr100LA	ロシア語2-II	1年	1		
	LANc100LA	中国語1-I	1年	1		
	LANc100LA	中国語1-II	1年	1		
	LANc100LA	中国語2-I	1年	1		
	LANc100LA	中国語2-II	1年	1		
	LANs100LA	スペイン語1-I	1年	1		
	LANs100LA	スペイン語1-II	1年	1		
	LANs100LA	スペイン語2-I	1年	1		
	LANs100LA	スペイン語2-II	1年	1		
	LANk100LA	朝鮮語1-I	1年	1		
	LANk100LA	朝鮮語1-II	1年	1		
	LANk100LA	朝鮮語2-I	1年	1		
	LANk100LA	朝鮮語2-II	1年	1		
	LANj100LA	日本語1-I	1年	1		
	LANj100LA	日本語1-II	1年	1		
	LANj100LA	日本語2-I	1年	1		
	LANj100LA	日本語2-II	1年	1		
4群(選択)外国語	LANe100LA	Practical English(英語オーラル・コミュニケーション)A-I	1～4年	1	市ヶ谷基礎科目4群、必修外国語(英語)に充当も可能 前年度からの連続履修も可能	留学生のみ
	LANe100LA	Practical English(英語オーラル・コミュニケーション)A-II	1～4年	1		
	LANe100LA	Practical English(英語オーラル・コミュニケーション)B-I	1～4年	1		
	LANe100LA	Practical English(英語オーラル・コミュニケーション)B-II	1～4年	1		
	LANe100LA	English for Study Abroad I	1～4年	1		
	LANe100LA	English for Study Abroad II	1～4年	1		
	LANe100LA	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)A-1	1～4年	1		
	LANe100LA	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)A-2	1～4年	1		
	LANe100LA	Practical English(英語検定試験対策)A-1	1～4年	1		
	LANe100LA	Practical English(英語検定試験対策)A-2	1～4年	1		
	LANe100LA	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)B-1	1～4年	1		
	LANe100LA	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)B-2	1～4年	1		
	LANe100LA	入門英語 I	1～4年	1		
	LANe100LA	入門英語 II	1～4年	1		
	LAND200LA	ドイツ語コミュニケーション I	2～4年	1		SSI生のみ
	LAND200LA	ドイツ語コミュニケーション II	2～4年	1		
	LAND200LA	ドイツ語表現法 I	2～4年	1	132単位以上	
	LAND200LA	ドイツ語表現法 II	2～4年	1		
	LAND200LA	ドイツ語視聴覚 I	2～4年	1		
	LAND200LA	ドイツ語視聴覚 II	2～4年	1		
	LAND200LA	時事ドイツ語 I	2～4年	1		
	LAND200LA	時事ドイツ語 II	2～4年	1		
	LAND200LA	検定ドイツ語 I	2～4年	1		
	LAND200LA	検定ドイツ語 II	2～4年	1		
	LAND100LA	スポーツ・ドイツ語 I	1～3年	1		
	LAND100LA	スポーツ・ドイツ語 II	1～3年	1		

※同名科目は、同セメスターで1科目1単位までしか履修できません。また、一度単位を修得した科目は、次セメスター以降重複して履修登録できません。

	科目ナンバリング	科目名	履修年次	単位数	必要数	備考
4群 (選択外国語)	LANf200LA	フランス語コミュニケーション I	2~4年	1	0 5 群 合 計 で 36 単 位 以 上 (注 ・ 卒 業 要 件 は 専 門 科 目 と 合 計 で	2020年度休講
	LANf200LA	フランス語コミュニケーション II	2~4年	1		
	LANf100LA	フランス語視聴覚 I	1~4年	1		
	LANf100LA	フランス語視聴覚 II	1~4年	1		
	LANf200LA	フランス語視聴覚 III	2年	1		
	LANf200LA	フランス語視聴覚 IV	2年	1	2020年度休講	2020年度休講
	LANf200LA	時事フランス語 I	2年	1		
	LANf200LA	時事フランス語 II	2年	1		
	LANf200LA	検定フランス語 I	2~4年	1		
	LANf200LA	検定フランス語 II	2~4年	1		
	LANf200LA	情報フランス語 I	2年	1	36 単 位 以 上 (注 ・ 卒 業 要 件 は 専 門 科 目 と 合 計 で	2020年度休講
	LANf200LA	情報フランス語 II	2年	1		
	-	観光フランス語 I	1~4年	1		
	-	観光フランス語 II	1~4年	1		
	-	スポーツ・フランス語 I	1~3年	1		
	-	スポーツ・フランス語 II	1~3年	1	2018年度より閉講	SSI生のみ、2018年度より閉講
	LANc200LA	中国語コミュニケーション I	2~4年	1		
	LANc200LA	中国語コミュニケーション II	2~4年	1		
	LANc200LA	中国語表現法 I	2~4年	1		
	LANc200LA	中国語表現法 II	2~4年	1		
	LANc200LA	中国語視聴覚 I	2~4年	1	132 単 位 以 上 (2019年度より閉講
	LANc200LA	中国語視聴覚 II	2~4年	1		
	LANc200LA	検定中国語 I	2~4年	1		
	LANc200LA	検定中国語 II	2~4年	1		
	LANs200LA	スペイン語コミュニケーション I	3~4年	1		
	LANs200LA	スペイン語コミュニケーション II	3~4年	1	留学生のみ、2018年度より閉講	留学生のみ、2018年度より閉講
	-	スペイン語講読 I	2~4年	1		
	-	スペイン語講読 II	2~4年	1		
	LANs200LA	時事スペイン語 I	2~4年	1		
	LANs200LA	時事スペイン語 II	2~4年	1		
	LANK200LA	朝鮮語コミュニケーション I	2~4年	1	朝鮮語(4群必修)を修得している場合のみ履修可	朝鮮語(4群必修)を修得している場合のみ履修可
	LANK200LA	朝鮮語コミュニケーション II	2~4年	1		
	LANK200LA	朝鮮語講読 I	3~4年	1		
	LANK200LA	朝鮮語講読 II	3~4年	1		
	LANK200LA	朝鮮語表現法 I	3~4年	1		
	LANK200LA	朝鮮語表現法 II	3~4年	1	留学生のみ、2018年度より閉講	留学生のみ、2018年度より閉講
	LANK200LA	朝鮮語視聴覚 I	2~4年	1		
	LANK200LA	朝鮮語視聴覚 II	2~4年	1		
	-	日本語コミュニケーション I	2~4年	1		
	-	日本語コミュニケーション II	2~4年	1		
5群	HSS100LA	スポーツ総合演習	1年	2	2単位必修	

ILAC (アイラック) 科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

2017年度以降入学生				2014~2016年度入学生		備考	
群	科目配置	必修選択	授業科目	群	授業科目		
0群	基盤	必修	基礎ゼミ	0群	基礎ゼミ		
			リベラルアーツ特別講座		リベラルアーツ特別講座	2020年度新規開講	
			課題解決型フィールドワーク		課題解決型フィールドワーク	2019年度新規開講	
			情報処理演習		情報処理演習	2020年度より春学期のみ開講	
		選択	キャリアデザイン入門		キャリアデザイン入門		
			キャリアデザイン応用		キャリアデザイン応用		
	リベラル	選択	キャリアデザイン演習		キャリアデザイン演習	2017年度で開講	
			就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ		就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ	2017年度で開講	
		選択	大学を知ろう <法政学>への招待		大学を知ろう <法政学>への招待	2019年度より法政学への招待から名称変更	
			法政学の探究A ◇		法政学の探究A		
			法政学の探究B ◇		法政学の探究B		
1群	基盤	選択必修	日本古典文学A ◇		文学Ⅰ		
			日本古典文学B ◇		文学Ⅱ		
			日本近・現代文学A ◇		文学Ⅰ		
			日本近・現代文学B ◇		文学Ⅱ		
			日本文学A ◇		文学Ⅰ		
			日本文学B ◇		文学Ⅱ		
			外国文学A ◇		文学Ⅰ		
			外国文学B ◇		文学Ⅱ		
			文章論 ◇		文章論Ⅰ		
			言語学A ◇		哲学Ⅰ/Ⅱ		
	リベラル		言語学B ◇		倫理学Ⅰ/Ⅱ		
			哲學Ⅰ/Ⅱ		論理学Ⅰ/Ⅱ		
			倫理学Ⅰ/Ⅱ		論理学Ⅰ/Ⅱ		
			論理学Ⅰ/Ⅱ		東洋史Ⅰ/Ⅱ		
			東洋史Ⅰ/Ⅱ		西洋史Ⅰ/Ⅱ		
			西洋史Ⅰ/Ⅱ		日本史Ⅰ/Ⅱ		
			宗教論Ⅰ/Ⅱ		宗教論Ⅰ/Ⅱ		
			芸術A		芸術Ⅰ		
			芸術B		芸術Ⅱ		
			日本文学と文化LA/LC/LE/LG ◇		文学Ⅰ		
2群	基盤	選択必修	日本文学と文化LB/LD/LF/LH ◇		文学Ⅱ		
			外国文学と文化LA/LC/LE ◇		文学Ⅰ	2020年度休講 (外国文学と文化LC)	
			外国文学と文化LB/LD/LF ◇		文学Ⅱ	2020年度休講 (外国文学と文化LD)	
			文学と社会LA/LC/LE ◇		文学Ⅰ	2020年度休講 (文学と社会LA)	
			文学と社会LB/LD/LF ◇		文学Ⅱ	2020年度休講 (文学と社会LB)	
			音声学L ◇		哲学Ⅰ/Ⅱ		
			哲学LⅠ/Ⅱ ◇		倫理学Ⅰ/Ⅱ		
			倫理学LⅠ/LⅡ ◇		論理学Ⅰ/Ⅱ		
			論理学LⅠ/LⅡ ◇		論理学Ⅰ/Ⅱ		
			東洋史LⅠ/LⅡ ◇		東洋史Ⅰ/Ⅱ		
	リベラル		西洋史LⅠ/LⅡ ◇		西洋史Ⅰ/Ⅱ		
			西洋史LA ◇		日本史Ⅰ/Ⅱ		
			西洋史LB ◇		宗教論Ⅰ/Ⅱ		
			日本史LⅠ/LⅡ ◇		宗教論Ⅰ/Ⅱ		
			宗教論LⅠ/LⅡ ◇		法政学Ⅰ/Ⅱ		
			法政学Ⅰ/Ⅱ		法政学(日本国憲法)		
			法政学(日本国憲法)		経済学Ⅰ/Ⅱ		
			経済学Ⅰ/Ⅱ		心理学Ⅰ/Ⅱ		
			心理学Ⅰ/Ⅱ		地理学Ⅰ/Ⅱ		
			地理学Ⅰ/Ⅱ		政治学Ⅰ/Ⅱ		
3群	基盤	選択必修	政治学Ⅰ/Ⅱ		社会学Ⅰ/Ⅱ		
			社会学Ⅰ/Ⅱ		文化人類学Ⅰ		
			文化人類学Ⅰ		社会思想Ⅰ/Ⅱ		
			社会思想Ⅰ/Ⅱ		法政学Ⅰ/Ⅱ		
			経済学LA ◇		法政学(日本国憲法)		
			経済学LB ◇		経済学Ⅰ/Ⅱ		
			心理学LA ◇		心理学Ⅰ/Ⅱ		
			心理学LB ◇		地理学Ⅰ/Ⅱ		
			地理学LA/LC ◇		政治学Ⅰ/Ⅱ		
			地理学LB/LD ◇		社会学Ⅰ/Ⅱ		
	リベラル		政治学LA ◇		文化人類学Ⅰ		
			政治学LB ◇		社会学Ⅱ		
			社会学LA/LC ◇		文化人類学Ⅱ		
			社会学LB/LD ◇		社会思想Ⅰ		
			文化人類学L ◇		社会思想Ⅱ		
			社会思想LA ◇		社会思想Ⅰ		
			社会思想LB ◇		社会思想Ⅱ		
			教養数学A		教養数学A		
			教養数学B		教養数学B		
			基礎数学Ⅰ/Ⅱ		基礎数学Ⅰ/Ⅱ		
3群	基盤	選択必修	入門物理学A ◇		原子から宇宙までI		
			入門物理学B ◇		原子から宇宙までII		
			入門生物学A ◇		生命科学I		
			入門生物学B ◇		生命科学II		
			入門化学A ◇		物質と環境I		
			入門化学B ◇		物質と環境II		
			サイエンス・ラボA		サイエンス・ラボA		
			サイエンス・ラボB		サイエンス・ラボB		
			天文学A		天文学I		
			天文学B		天文学II		
3群	リベラル	選択必修	科学史A		科学史I		
			科学史B		科学史II		
			数学特講LA ◇		教養数学A		
			数学特講LB ◇		教養数学B		
			発展数学LⅠ/LⅡ ◇		基礎数学Ⅰ/Ⅱ		
			教養物理学LA ◇		原子から宇宙までI		
			教養物理学LB ◇		原子から宇宙までII		
			教養生物学LB/LD/LF ◇		生命科学I	2020年度休講 (教養生物学LF)	
			教養生物学LA/LC/LE ◇		生命科学II	2020年度休講 (教養生物学LE)	
			教養化学会LA ◇		物質と環境I		
			教養化学会LB ◇		物質と環境II		

2014~2016年度入学者用

2017年度以降入学生				2014~2016年度入学生		備考
群	科目配置	必修選択	授業科目	群	授業科目	
4群	外國語科目	リベラル	選択	総合科目	ドイツの文化と社会LA ◇	※1
					ドイツの文化と社会LB ◇	※1
					ドイツ語の世界LA ◇	※1
					ドイツ語の世界LB ◇	※1
					フランスの文化と社会LA ◇	※1
					フランスの文化と社会LB ◇	※1
					フランス語の世界LA ◇	※1
					フランス語の世界LB ◇	※1
					フランス生活文化論LA	
					フランス生活文化論LB	
					ヨーロッパの文化と社会LA ◇	※1
					ヨーロッパの文化と社会LB ◇	※1
					ヨーロッパ語の世界LA ◇	※1
					ヨーロッパ語の世界LB ◇	※1
					中国の文化と社会LA/LC ◇	※1
					中国の文化と社会LB/LD ◇	※1
					中国語の世界LA ◇	※1
					中国語の世界LB ◇	※1
					スペイン語の世界LA ◇	※1
					スペイン語の世界LB ◇	※1
4群	外國語科目	英語	選択	4群	朝鮮の文化と社会LA ◇	※1
					朝鮮の文化と社会LB ◇	※1
					日本の文化と社会LA ◇	※1
					日本の文化と社会LB ◇	※1
					日本語の世界LA ◇	※1
					日本語の世界LB ◇	※1
					日本語の世界I	
					日本語の世界II	※3
					英語1~I / II	
					英語2~I / II	
4群	外國語科目	ドイツ語	必修	5群	Practical English(オーラル・コミュニケーション)A~I / II	
					Practical English(オーラル・コミュニケーション)B~I / II	
					Practical English(ビジネス・コミュニケーション)A~I / II	
					Practical English(ビジネス・コミュニケーション)B~I / II	
					Practical English(英語検定試験対策)A~I / II	
					Practical English(英語検定試験対策)B~I / II	
					English for Study Abroad I / II	
					入門英語(SSD)I / II	
					ドイツ語1~I / II	
					ドイツ語2~I / II	
4群	外國語科目	フランス語	必修	4群	ドイツ語表現法 I / II	
					入門ドイツ語(SSD)I / II ◇	
					検定ドイツ語 I / II	
					ドイツ語コミュニケーション I / II	
					ドイツ語視聴覚 I / II	
					時事ドイツ語 I / II	
					フランス語1~I / II	
					フランス語2~I / II	
					フランス語視聴覚(入門)I / II ◇	2020年度休講
					フランス語視聴覚(初・中級)I / II ◇	
4群	外國語科目	ロシア語	必修	4群	フランス語視聴覚(初級)I / II ◇	
					時事フランス語 I / II	
					検定フランス語 I / II	
					情報フランス語 I / II	
					ロシア語1~I / II	
					ロシア語2~I / II	
					中国語1~I / II	
					中国語2~I / II	
					中国語視聴覚初級 I / II ◇	
					中国語作文初級 I / II ◇	
4群	外國語科目	中国語	必修	4群	中国語コミュニケーション基礎 I / II ◇	
					中国語コミュニケーション初級 I / II ◇	
					資格中国語初級 I / II ◇	
					スペイン語1~I / II	
					スペイン語2~I / II	
					時事スペイン語 I / II	
					スペイン語コミュニケーション I / II	
					朝鮮語1~I / II	
					朝鮮語2~I / II	
					朝鮮語3C(コミュニケーション) I / II ◇	
4群	外國語科目	スペイン語	必修	4群	朝鮮語4B(視聴覚) I / II ◇	
					朝鮮語5A(購読) I / II ◇	
					朝鮮語5B(表現法) I / II ◇	
					日本語1~I / II	
					日本語2~I / II	
					日本語コミュニケーション I / II	
					日本語総合演習	
					日本語総合演習S ◇	
					健康の科学LA ◇	
					健康の科学LB ◇	
5群		基盤	必修	5群	健康の科学LA ◇	
			選択		健康の科学LB ◇	
		リベラル	選択	0群	健康の科学LB ◇	※1

※1…2017年度以降入学者のみ履修可

※2…2016年度以前入学者のみ履修可

※3…2016年度以前入学者は、0群科目として履修

◇…2017年度以降入学者と2016年度以前入学者で科目名が異なるもの。

カリキュラム
2014～2016年度入学者用

専門科目 カリキュラム表 (2014～2016年度入学者用)

		科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数		備考
基幹科目	選択必修	BSP200MA	キャリア研究調査法(質的調査)	発達・教育キャリア	基幹スキル	1年～	2	2単位以上	2単位	
		BSP200MA	キャリア研究調査法(量的調査)		基幹スキル	1年～	2			
	必修	BSP100MA	キャリアデザイン学入門		基幹必修	1年～2年	2			
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門A		基幹入門	1年～	2			
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門B		基幹入門	1年～	2			
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門C(生涯学習入門 I)		基幹入門	1年～	2			
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門D(生涯学習入門 II)		基幹入門	1年～	2			
	選択必修	BSP100MA	ビジネスキャリア入門A		基幹入門	1年～	2			
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門B		基幹入門	1年～	2			
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門C		基幹入門	1年～	2			
選択		BSP100MA	ビジネスキャリア入門D		基幹入門	1年～	2			
		BSP100MA	ライフキャリア入門A	ライフキャリア	基幹入門	1年～	2	20単位以上	一つの領域から8単位以上*1	
		BSP100MA	ライフキャリア入門B		基幹入門	1年～	2			
		BSP100MA	ライフキャリア入門C		基幹入門	1年～	2			
		BSP100MA	ライフキャリア入門D		基幹入門	1年～	2			
		CAR100MA	労働法	基幹科目・展開科目	基幹共通	1年～	2			基幹科目・展開科目合計72単位以上
		BSP100MA	ファシリテーション論		基幹共通	1年～	2			
		BSP100MA	若者の自立支援		基幹共通	1年～	2			
		CAR100MA	職業選択論 I		基幹共通	1年～	2			
		CAR100MA	ライフコース論		基幹共通	1年～	2			
		CAR100MA	生活設計論 I (社会保障)		基幹共通	1年～	2			
		CAR100MA	生活設計論 II (生活設計)		基幹共通	1年～	2			
		CAR100MA	キャリアモデル・ケーススタディ		基幹共通	1年～	2			
展開科目	選択必修	BSP200MA	キャリアサポート事前指導	展開科目	★展開体験	2年～	2	1ペア4単位以上*2	一つの領域から52単位以上	「キャリア体験学習」と「キャリア体験学習(国際)」は同時に履修することができません
		BSP200MA	キャリアサポート実習		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	多文化教育 I		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	多文化教育 II		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	キャリア体験事前指導		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	キャリア体験学習		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	キャリア体験事前指導(国際)		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	キャリア体験学習(国際)		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	メディアリテラシー実習 I		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	メディアリテラシー実習 II		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	地域学習支援 I		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	地域学習支援 II		★展開体験	2年～	2			
		EDU200MA	キャリア研究調査実習A	展開科目	展開調査	2年～	2	2020年度より科目名称変更 旧科目名:生涯学習論 I / II (現代社会と社会教育 I / II)	一つの領域から36単位以上*3	
		EDU200MA	キャリア研究調査実習B		展開調査	2年～	2			
		EDU200MA	外書講読A(発達・教育)		展開外書	2年～	2			
		EDU200MA	外書講読B(発達・教育)		展開外書	2年～	2			
		PSY200MA	生涯発達心理学 I		発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	生涯発達心理学 II		発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	臨床教育相談論 I		発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	臨床教育相談論 II		発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	キャリアカウンセリング I		発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	キャリアカウンセリング II		発達と学習	2年～	2			
選択必修		PSY200MA	キャリアカウンセリング III (ケーススタディ)		発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	教育相談	発達・教育キャリア	発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	教育心理学		発達と学習	2年～	2			
		EDU200MA	学校論 I (キャリア形成)		学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA	学校論 II (キャリア形成)		学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA	学校論 III (キャリア教育)		学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA	学校論IV (キャリア教育)		学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA	生涯学習論 I (生涯学習支援論 I)		学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA	生涯学習論 II (生涯学習支援論 II)		学校教育と地域学習	2年～	2			
		FRI200MA	図書館情報学概論 I		学校教育と地域学習	2年～	2			
選択必修		FRI200MA	図書館情報学概論 II		学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA	メディア教育論 I	発達・教育キャリア	学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA	メディア教育論 II		学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA	教育マネジメント I		学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA	教育マネジメント II		学校教育と地域学習	2年～	2			
		EDU200MA			学校教育と地域学習	2年～	2			

* 1 選択する領域は、* 3と同じ領域でなければなりません。

* 2 ★印の科目は、ペア前半（I または事前指導等）科目の単位を修得した場合、ペア後半（II または体験科目等）科目の履修登録が可能です。

* 3 選択する領域は、* 1と同じ領域でなければなりません。

		科目ナンバリング	科 目 名	領 域	分 区	受 講 学 年	単 位 数	必 要 数		備 考
選 択 必 修 展 開 科 目	発達・教育キャリア	EDU200MA	教育政策		教育と社会	2年～	2			基幹科目・展開科目 合計 72 単位以上
		EDU200MA	現代教育思想		教育と社会	2年～	2			
		EDU200MA	生涯学習論Ⅲ(成人教育論Ⅰ)		教育と社会	2年～	2			
		EDU200MA	生涯学習論Ⅳ(成人教育論Ⅱ)		教育と社会	2年～	2			
		HIS200MA	学習の社会史A		教育と社会	2年～	2			
		HIS200MA	学習の社会史B		教育と社会	2年～	2			
		EDU200MA	教育社会学Ⅰ		教育と社会	2年～	2			
		EDU200MA	教育社会学Ⅱ		教育と社会	2年～	2			
		EDU200MA	教育経済学		教育と社会	2年～	2			
		MAN200MA	キャリア研究調査実習C	ビジネスキャリア	展開調査	2年～	2	1 つ の 領 域 か ら 36 単 位 以 上	展開科目 か ら 52 単 位 以 上	経営学部主催科目*4
		MAN200MA	キャリア研究調査実習D		展開調査	2年～	2			
		MAN200MA	外書講読A(ビジネス)		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	外書講読B(ビジネス)		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	職業選択論Ⅱ		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	人材育成論Ⅰ		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	人材育成論Ⅱ		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	産業・組織心理学Ⅰ		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	産業・組織心理学Ⅱ		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	キャリア開発論		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	リーダーシップ論		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	経営統計論A(心理データ)		個人・人間	2年～	2			
		MAN200MA	企業会計論		集団・組織	2年～	2			
		MAN200MA	経営統計論B(企業データ)		集団・組織	2年～	2			
		MAN200MA	経営組織論Ⅰ		集団・組織	2年～	2			
		MAN200MA	経営組織論Ⅱ		集団・組織	2年～	2			
		MAN200MA	戦略経営論Ⅰ		集団・組織	2年～	2			
		MAN200MA	戦略経営論Ⅱ		集団・組織	2年～	2			
		MAN200MA	経営分析論Ⅰ		集団・組織	2年～	2			
		MAN200MA	経営分析論Ⅱ		集団・組織	2年～	2			
		MAN200MA	アントレプレナーシップ論Ⅰ		集団・組織	2年～	2			
		MAN200MA	アントレプレナーシップ論Ⅱ		職業キャリア論	2年～	2			
		MAN200MA	産業社会論		産業社会	2年～	2			
		ECN200MA	労働経済学		産業社会	2年～	2			
		MAN200MA	シティズンシップ論		産業社会	2年～	2			
		MAN200MA	生産システム論		産業社会	2年～	2			
		MAN200MA	国際経営論		産業社会	2年～	2			
		ECN200MA	日本経済論		産業社会	2年～	2			
		ECN200MA	産業論		産業社会	2年～	2			
		MAN200MA	広告ビジネス論		産業社会	2年～	2			
		MAN200MA	マークティング論		産業社会	2年～	2			
		MAN200MA	流通・マークティング戦略論		産業社会	2年～	2			
		MAN200MA	流通・サービスビジネス論		産業社会	2年～	2			
		MAN200MA	就業機会発見実務		産業社会	2年～	2			
	ライフキャリア	SOC200MA	キャリア研究調査実習E	ライフキャリア	展開調査	2年～	2	1 つ の 領 域 か ら 36 単 位 以 上	展開科目 か ら 52 単 位 以 上	*3
		SOC200MA	キャリア研究調査実習F		展開調査	2年～	2			
		SOC200MA	外書講読A(ライフ)		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	外書講読B(ライフ)		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	コミュニケーション社会論Ⅰ		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	コミュニケーション社会論Ⅱ		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	家族論		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	若者文化論		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	世代間交流論		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	身体表現論		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	地域文化論		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	アイデンティティ論		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	余暇集団論		自己・他者・関係	2年～	2			
		SOC200MA	NPO論		文化マネジメント	2年～	2			
		SOC200MA	公共サービス論		文化マネジメント	2年～	2			
		SOC200MA	アート・マネジメント論		文化マネジメント	2年～	2			
		SOC200MA	文化経営論		文化マネジメント	2年～	2			
		SOC200MA	メディア文化論		文化マネジメント	2年～	2			
		SOC200MA	文化マーケティング論		文化マネジメント	2年～	2			
		SOC200MA	ブランド創造論		文化マネジメント	2年～	2			
		SOC200MA	産業文化論		文化マネジメント	2年～	2			
総 合	ARSx200MA	CUM200MA	ミュージアム概論	ARSx200MA	文化マネジメント	2年～	2	*3	学部 - (64)	
		CUM200MA	ミュージアム経営論		文化マネジメント	2年～	2			
		SOC200MA	多文化社会論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2			
		SOC200MA	多文化社会論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2			
		SOC200MA	多文化社会論Ⅲ		多文化・グローバル社会	2年～	2			
		ARSx200MA	アジア社会論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2			
		ARSx200MA	アジア社会論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2			
		ARSx200MA	国際関係論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2			
		ARSx200MA	国際関係論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2			
		ARSx200MA	国際地域研究Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2			
		ARSx200MA	国際地域研究Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2			
		CAR200MA	就業機会とキャリア				2年～	2		
		CAR200MA	職業能力ベーシックスキルⅠ				2年～	2		
		CAR200MA	職業能力ベーシックスキルⅡ				2年～	2		

* 3 選択する領域は、* 1 と同じ領域でなければなりません。

* 4 試験・休講・教室変更等の諸連絡については各学部の掲示板を見ること。

		科目ナンバリング	科 目 名	領 域	区分	受講学年	単位数	必 要 数		備 考
演習科目	選 択	EDU200MA	演習(発達・教育)			2年～	各2			2年秋学期より履修可 10単位まで履修可 *3
		MAN200MA	演習(ビジネス)			2年～	各2			
		SOC200MA	演習(ライフ)			2年～	各2			
		EDU400MA	卒業論文(発達・教育)			4年	4			*3
		MAN400MA	卒業論文(ビジネス)			4年	4			
		SOC400MA	卒業論文(ライフ)			4年	4			
		OTR400MA	キャリアデザイン学総合演習			3～4年	2			
関連科目	選 択	LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語 I)			1年～	1			市ヶ谷基礎科目4群(必修外国語 <英語>)に充当も可能
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語 II)			1年～	1			
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語 III)			1年～	1			
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語 IV)			1年～	1			
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語 V)			1年～	1			2017年度以降開講
		-	国際コミュニケーション語学(中国語 I)			1年～	1			2017年度以降開講
		-	国際コミュニケーション語学(中国語 II)			1年～	1			
		LANe200MA	スタディ・アブロード I			2年～	4			2020年度休講
		LANe200MA	スタディ・アブロード II			2年～	4			
		LANe200MA	スタディ・アブロード III			2年～	4			
		LANe200MA	スタディ・アブロード IV			2年～	4			
		CAR200MA	就業機会とキャリア特講			2年～	2			経営学部主催科目 *4 会計の基礎知識を備えていることが 受講の条件として指定されている科目 が多いのでシラバスをよく読むこと。
		CAR200MA	地域活性論			2年～	4			
		CAR300MA	就業応用力養成 I			3年～	2			
		CAR300MA	就業応用力養成 II			3年～	2			
		MAN300MA	財務会計論 I			3年～	2			国際文化学部主催科目 *4 2020年度休講
		MAN300MA	財務会計論 II			3年～	2			人間環境学部主催科目 *4 2020年度休講
		MAN300MA	監査論 I			3年～	2			
		MAN300MA	監査論 II			3年～	2			
		MAN300MA	税務会計論 I			3年～	2			経営学部主催科目 *4 会計の基礎知識を備えていることが 受講の条件として指定されている科目 が多いのでシラバスをよく読むこと。
		MAN300MA	税務会計論 II			3年～	2			
		MAN300MA	管理会計論 I			3年～	2			
		MAN300MA	管理会計論 II			3年～	2			
		MAN300MA	原価計算論 I			3年～	2			国際文化学部主催科目 *4 2020年度休講
		MAN300MA	原価計算論 II			3年～	2			人間環境学部主催科目 *4 2020年度休講
		MAN300MA	経営分析 I			3年～	2			
		MAN300MA	経営分析 II			3年～	2			
		SOC100MA	異文化適応論			1年～	2			教職課程「教職に関する科目」 教職課程の履修方法やシラバス は別冊「教職課程履修要綱」を見 ること。
		SOC200MA	市民社会と政治			1年～	2			
		CAR200MA	労働環境法			2年～	2			
		CAR300MA	社会貢献・課題解決教育			3年～	4			
		EDU100MA	教職入門			1年～	2			教職課程「教職に関する科目」 教職課程の履修方法やシラバス は別冊「教職課程履修要綱」を見 ること。
		EDU100MA	教育原理			1年～	2			
		EDU100MA	教育の制度・経営			1年～	2			
		EDU200MA	教育課程論			2年～	2			
		EDU200MA	社会・地歴科教育法			2年～	4			資格課程科目 各資格課程(図書館司書・司書 教諭、博物館学芸員、社会教育 主事)の履修方法やシラバスは別 冊「資格関係科目履修要綱」を見 ること。
		EDU200MA	社会・公民科教育法			2年～	4			
		EDU200MA	商業科教育法			2年～	4			
		EDU200MA	道徳教育指導論			2年～	2			
		EDU200MA	特別活動論			2年～	2			
		EDU200MA	教育方法論			2年～	2			
		EDU200MA	生徒・進路指導論			2年～	2			
		FRI200MA	図書館演習			2年～	4			
		FRI200MA	図書館制度・経営論			2年～	2			
		FRI200MA	図書館サービス概論			2年～	2			
		FRI200MA	児童サービス論			2年～	2			
		FRI200MA	情報サービス論			2年～	2			
		FRI200MA	情報サービス演習			2年～	4			
		FRI200MA	図書館情報資源概論			2年～	2			
		FRI200MA	図書館情報資源特論			2年～	2			
		FRI200MA	情報資源組織論			2年～	2			
		FRI200MA	情報資源組織演習			2年～	2			
		FRI200MA	学校経営と学校図書館			2年～	2			

* 3 選択する領域は、* 1 と同じ領域でなければなりません。

* 4 試験・休講・教室変更等の諸連絡については各学部の掲示板を見ること。

		科目ナンバリング	科 目 名	領 域	区分	受講学年	単位数	必 要 数		備 考
関連科目	選 択	FRI200MA	学習指導と学校図書館			2年～	2			資格課程科目 各資格課程(図書館司書・司書教諭、博物館学芸員、社会教育主事)の履修方法やシラバスは別冊「資格関係科目履修要綱」を観ること。
		FRI200MA	読書と豊かな人間性			2年～	2			
		FRI200MA	情報メディアの活用			2年～	2			
		FRI200MA	学校図書館メディアの構成			2年～	2			
		CUM100MA	ミュージアム資料論			1年～	2			
		CUM100MA	ミュージアム教育論			1年～	2			
		CUM100MA	ミュージアム資料保存論			1年～	2			
		CUM100MA	ミュージアム展示論			1年～	2			
		CUM100MA	ミュージアム情報・メディア論			1年～	2			
		CUM200MA	博物館実習 I			2年～	2			
		CUM200MA	博物館実習 II			2年～	2			
		EDU200MA	社会教育経営論			2年～	4			
		EDU200MA	社会教育演習			2年～	4			
		EDU200MA	社会教育活動 I			2年～	2			
		EDU200MA	社会教育活動 II			2年～	2			
		EDU200MA	職業指導(仕事の場と学び)			2年～	4			
		EDU200MA	現代生活・文化と社会教育 I			2年～	2			
		EDU200MA	現代生活・文化と社会教育 II			2年～	2			
自由科目		-	他学部公開科目			2年～				16単位まで履修可
		-	ESOP科目 *5			1年～				
		-	ERP科目 *5			1年～				
		-	グローバル・オープン科目			1年～				
		-	「国際インターン」・「国際ボランティア」 *5*6			1年～	各1			
		-	短期語学研修 *5*6			1年～	2			

* 5 グローバル教育センター設置科目です。参加後に必要手続きを経て単位認定を行います。

* 6 履修登録上限単位数の対象外となります。

○ 履修上の注意(2016年度以前入学者) ○

留級した学生および進級した学生が未修得の科目を再履修する場合は、法政ポータル

サイト(Hoppii)内のWeb掲示板の案内を確認してください。

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



※科目名についてはP.学部-(58)を参照してください。

1. 市ヶ谷基礎科目0群～3群の履修について

★0群★

- a. 2017年度までに「就業基礎力養成Ⅰ」の単位を修得した方は、「キャリアデザイン応用」を履修できません。

	2017年度までに 就業基礎力養成Ⅰの 単位を修得済み	2017年度までに 就業基礎力養成Ⅱの 単位を修得済み	2017年度までに キャリアデザイン演習 の単位を修得済み
キャリアデザイン応用	×履修できません	○履修できます	○履修できます

- b. 2018年度までに「法政学への招待」の単位を修得した方は、「大学を知ろう ＜法政学＞への招待」を履修できません。
c. 科目によって履修できる年次が異なります。
d. 単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。ただし、ⅠとⅡ、AとB等は異なる科目です。例えば、○○学Aと○○学Bであれば、どちらも履修することができます。

★1群～3群★

- a. 1年次生が市ヶ谷基礎科目1群～3群の科目を履修する場合は、学部・学科・クラスの指定があります。2～4年次生は、学部・学科・クラスの指定はありません。基礎科目時間割を確認し、選択してください。
- b. 「教養数学A/B」は1年次生以上が履修可能です。「基礎数学Ⅰ/Ⅱ」は2年次生以上が履修可能です。
- c. 単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。ただし、ⅠとⅡ、AとB等は異なる科目です。例えば、○○学Aと○○学Bであれば、どちらも履修することができます。
- d. 「サイエンス・ラボA」と「サイエンス・ラボB」は実験授業のため定員制です。そのため、履修登録前に仮登録が必要です。仮登録の詳細については、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板等を参照してください。
- e. 2015年度までに、「自然総合講座A」または「自然総合講座B」(あるいは両方)を履修して単位を修得したものは「サイエンス・ラボA」と「サイエンス・ラボB」のどちらも履修できません。

	2015年度までに 自然総合講座A の単位を修得済み	2015年度までに 自然総合講座B の単位を修得済み	2015年度までに 自然総合講座A/B とともに単位を修得済み
サイエンス・ラボA	×履修できません	×履修できません	×履修できません
サイエンス・ラボB	×履修できません	×履修できません	×履修できません

- f. 2015年度までに、「数学、情報を読むためにⅠ」を履修して単位を修得したものは「教養数学A」を、また「数学、情報を読むためにⅡ」を履修して単位を修得したものは「教養数学B」を履修できません。

なお、単位を修得していない場合は履修が可能です。

カリキュラム
2014～2016年度入学者用

2015年度までに <u>数学・情報を読むためにI</u> の単位を修得済み		2015年度までに <u>数学・情報を読むためにII</u> の単位を修得済み
教養数学A	×履修できません	○履修できます
教養数学B	○履修できます	×履修できません

※2020年度よりILAC科目大人数授業において抽選制を実施します。対象科目や申込方法等の詳細はP.学部- (20) ページを参照してください。

2. 市ヶ谷基礎科目4群（外国語）の履修について

(1) 必修外国語科目（4群必修科目）

「英語」と諸外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「ロシア語」、「中国語」、「スペイン語」、「朝鮮語」、「日本語」（留学生のみ）のうちから一つの合計2言語を学びます。1年次に英語（4単位）と英語以外の諸外国語（4単位）の計8単位を履修します。

- 必修外国語はクラス指定があります。それぞれ指定されたクラスで履修してください。
- 英語は、習熟度別クラス編成を行っています。1年次にELPA英語プレイスメントテスト α が2回（4月・1月）行われ、4月実施のELPA英語プレイスメントテスト α のスコアでみなさんの必修英語のクラスを決定します。必ず受験してください。
- 4群（外国語）の必修単位は8単位です。1年次で2言語をそれぞれ週2回・年間8単位履修します。ただし、SSI生は英語4単位以上が必修です。
- SSI生は指定されたクラスで「英語1-I・II」、「英語2-I・II」を履修するか、SSI生用の授業「入門英語I・II」を履修するか、いずれの方法でも単位修得は可能です。ただし、教員免許を取得する場合には、「英語1-I・II」、「英語2-I・II」を2単位以上履修する必要があります。
- 3年次までに8単位以上（SSI生は英語4単位以上）を修得しなければなりませんが、できるだけ2年次までに履修を終えるようにしてください。
- 入学時に選択した諸外国語は、途中から他の外国語に変更することはできません。

科目		科目名	必修単位		
SSI・留学生 以外の学生	英語	英語1-I・II	4単位以上	3年次までに 8単位以上修 得	
		英語2-I・II			
	諸外国語	○○語1-I・II	4単位以上		
		○○語2-I・II			
SSI生	英語 右記より4単位以上選 択	英語1-I・II	4単位以上	3年次までに 4単位以上修 得	
		英語2-I・II			
		入門英語I・II			
留学生	英語	英語1-I・II	4単位以上	3年次までに 8単位以上修 得	
		英語2-I・II			
	日本語	日本語1-I・II	4単位以上		
		日本語2-I・II			

(2) 外国語選択科目（4群選択外国語）

必修外国語以外に、次の外国語選択科目があります。いずれも、4群選択外国語科目に集計されます。また、英語の選択科目は必修英語科目に充当することができます。

英語の選択科目

英語の4群選択科目には次の科目があります。

Practical English (オーラル・コミュニケーション) A—I／II、Practical English (オーラル・コミュニケーション) B—I／II、Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A—I／II、Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B—I／II、Practical English (英語検定試験対策) A—I／II、Practical English (英語検定試験対策) B—I／II、English for Study Abroad I、English for Study Abroad II

いずれも定員は約25名で、履修年次は1～4年次です。Aは初級、Bは中級です。English for Study Abroad I／IIを除き、Iは春学期、IIは秋学期に開講されます。English for Study Abroad I／IIは外国に留学する場合の科目で、I／IIとも春学期に開講されます。

キャリアデザイン学部の留学制度（Study Abroad）については学部-（84）を参照してください。

諸外国語の選択科目

英語以外の外国語についても、必修外国語の他にさらに諸外国語を学びたい学生のために選択外国語があります。

「ドイツ語」には、「コミュニケーション」「表現法」「視聴覚」「時事ドイツ語」「検定ドイツ語」などがあります。「フランス語」には、「コミュニケーション」「視聴覚」「時事フランス語」「検定フランス語」などがあります。「中国語」には、「コミュニケーション」「表現法」「視聴覚」「検定中国語」などがあります。「スペイン語」には、「コミュニケーション」「時事スペイン語」などがあります。「朝鮮語」には、「コミュニケーション」「講読」「表現法」「視聴覚」などがあります。入学時に希望した諸外国語の選択科目のみ履修が可能です。留学生は日本語の選択科目のみ履修可能です。

なお、選択科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

- a. 春学期、秋学期を合わせて通年で履修（同一科目のIとIIを連続して履修）することが原則となります。II（秋学期）のみを履修する授業であっても、そのIIに対応するIの科目の4月の春学期1回目の授業に出席し、受講許可を得て、9月に履修登録を行ってください。受講許可を得る時には、必ず同一科目をI・II（春学期+秋学期）とも履修するのか、それともI（春学期）あるいはII（秋学期）のみ履修するのかを、4月の春学期1回目の授業に出席し、担当教員に申し出てください。
- b. 各科目（秋学期科目含む）とも、必ず4月の春学期1回目の授業に出席し、担当教員から受講許可を得てください。選抜を行う場合もあります。受講が許可された場合のみ履修登録が可能です。選抜を行った場合、法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板にて発表します。

(3) 国際コミュニケーション語学（専門科目）

市ヶ谷基礎科目4群の選択外国語科目の他に、英語と中国語について専門科目の関連科目の国際コミュニケーション語学があります。

国際コミュニケーション語学の英語は、国際コミュニケーション語学・英語I／II（中級オーラル）、国際コミュニケーション語学・英語III／IV（中級～上級オーラル）、国際コミュニケーション語学・英語V（中級ライティング）があります。いずれも定員が25名で履修年次が1～4年です。

中国語については、国際コミュニケーション語学・中国語I／IIがあります。定員があり、履修年次が1～4年です。

国際コミュニケーション語学は、市ヶ谷基礎科目ではなく、また必修外国語との単位の代替はありませんが、市ヶ谷基礎科目の必修外国語、4群選択外国語科目と併せて履修するようにしてください。

3. 市ヶ谷基礎科目5群（体育科目）の履修について

学部－（24）を参照してください。

市ヶ谷基礎科目の目的と内容

※ 履修上の注意はP.学部一(67)～を参照してください。

市ヶ谷基礎科目0群～5群について

市ヶ谷基礎科目は半期(春学期・秋学期)ごとに授業を完結するセメスター制を採用しており、科目名の後にIまたはIIと表示されます。※一部、通年科目もあります。また、I/IIの代わりにIII(春学期)/IV(秋学期)と表示される科目もあります。

成績評価は半期ごとに出され、単位を修得していくことになりますが、科目の性質、または特殊性によってI、IIを連続履修することで、より理解が深まるところがあります。以下の各群の説明、およびWEBシラバスをよく読み確認してください。

市ヶ谷基礎科目は0群から5群までの6つの科目群により構成されています。各群の概要については、以下の説明を読んでください。なお、以降の説明では、特別な場合を除き「I」「II」(または「III」「IV」)等の記述を省ぐものとします。

市ヶ谷基礎科目0群

市ヶ谷基礎科目0群を開設する目的は、市ヶ谷基礎科目1群から5群までの科目の履修を容易にするため、それらの導入部を学び、基本的な知識を備えるためです。

- ・「大学を知ろう <法政学>への招待」(2018年度まで「法政学への招待」)、「法政学の探究A・B」は法政大学の歴史と現状を知ることで、本学で学ぶことの意義を考え、より深い理解を得るために開設された科目です。
- ・「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン応用」は、「大学生が『就業力』を身に付けるために、授業で何をどのように学ぶべきか」を目的に編成された科目です。卒業後に働くことを考えたとき何を大学時代に学んでおけばいいのか、深く考える仕組みを授業に取り入れています。
- ・「基礎ゼミ」は、1年次生を対象として開講されます。キャリアデザイン学部専任教員による少人数クラスで行う必修の科目です。
- ・「情報処理演習」は、コンピュータの操作の基礎を学ぶ、1セメスター完結の科目です。担当教員によって取り上げる内容・レベルに違いがあるため、WEBシラバスをよく読んで自分に合った授業を選んでください。なお、PC台数に限りがあるため、受講希望者が多数の場合は抽選となります。また、教員免許を取得するために必要な科目です。

市ヶ谷基礎科目1群

1群の科目は、文化全般をその研究対象とし、さらに、文化を創り出す人間とは何か、という研究課題をもっています。そのため、研究対象と講義内容は、多岐にわたります。

基本となるのは、「文学」「歴史」「哲学」の3分野といえます。文学では、日本の古典・近現代文学を始め、中国古典文学や西欧文学の講義を開講しています。哲学や歴史についても同様に、日本・東洋・西洋それぞれの専門の教員による講義が設置されており、さらに論理学・倫理学・言語学・文章論・宗教学・芸術なども含むさまざまな分野の教員による講座を開講しています。

以上の科目は「人文科学」と呼ばれ、古来教養の根幹をなす学問分野です。これらの科目を受講することを通して、幅広い知見を身につけるとともに、過去を学ぶことによって現在を考察し、さらには未来を展望する能力をつけることが狙いとなります。

市ヶ谷基礎科目2群

2群の開講科目は、「法学」「政治学」「経済学」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学」「社会思想」の8分野です。

これらの科目は、いずれも、人間社会のさまざまな側面を、それぞれ独自の視角や方法によって分析・検討するものです。各科目では、それぞれの分野の基本的な知識や視点を学ぶことで、人間社会のさまざまな現象を理解

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

するための基礎的な教養と知見を身につけます。それと同時に、それぞれの分野が築き上げてきた理論や手法を学ぶことで、専門的・発展的な問い合わせていくための思考力・洞察力を養います。

学生のみなさんには、それぞれの科目を通じて、自分がそのなかの一員である社会について理解を深めて、人間社会のさまざまな現象や問題について考える基礎としてほしいと思います。

市ヶ谷基礎科目3群

宇宙空間のようなマクロの世界から微粒子のようなミクロの世界までを含む自然を、自然科学は研究対象とします。ここでは、自然科学の基礎的な学問から、人文科学や社会科学とも関連して学際性をもつ学問まで、「教養数学」、「基礎数学」、「発展数学」、「原子から宇宙まで」、「生命科学」、「物質と環境」、「サイエンス・ラボ」、「天文学」、「科学史」の9科目が開講されています。

市ヶ谷基礎科目4群

必修外国語のほか、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、日本語についてのさまざまな選択科目があります。

必修外国語は卒業所要単位です。選択科目の外国語関係科目も、修得すれば卒業所要単位に含めることができます。なるべくあわせて履修することが望されます。また、他学部公開科目にある総合科目の中にはさまざまな外国語関係科目があり、履修・修得すれば、専門科目としての単位になります。なお、他に、専門科目の関連科目群に含まれる選択科目の国際コミュニケーション語学があります。4群の科目ではありませんが、4群の選択科目の外国語関係科目と、体系的な履修ができるようになっています。

★受講定員のある科目：春学期1回目の授業に出席し、担当教員の受講許可を得てください。選抜を行う場合、方法は教員が指示します。許可された学生のみ履修登録できます。

★春学期のみ、秋学期のみ履修を希望する場合も、必ず春学期の1回目の授業で教員にその旨を申し出て、受講の許可を受けてください。

選抜結果は法政ポータルサイト(Hoppii)内のWeb掲示板で発表します。

<英語>

市ヶ谷基礎科目の「英語」では、高校までに身につけた運用能力をさらに伸ばすとともに、世界の多様な文化に対する理解を深め、批判的思考能力を涵養します。

<諸外国語>

「諸外国語」は、それぞれの言語を学びながら、それぞれの言語を学びながら、諸外国の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。

市ヶ谷基礎科目5群

スポーツ総合演習は、①クラス指定の週1回半期型、②自由に選択履修できる週1回半期型の2つの形式で開講されています。

①は必修科目で、原則学部・学科・所属クラスを単位として履修する授業の学期・曜日・時限が指定されています。②は選択科目で、いずれも学部を問わず履修可能ですが、履修希望者が多数の場合には事前のガイダンスにおいて授業ごとに抽選で履修可能者が決定されます。卒業のためには、上記のいずれかの形式で2単位を修得することが必須となります。5群の単位としては①、②の授業を各1回ずつ、計4単位を上限として履修・修得することが認められています。

授業は数種目のスポーツ実践や講義等から構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験及びレポート等の課題の評価を総合的に判定して単位を授与することになります。

スポーツ総合演習の詳細については、学部ガイダンスの際に説明します。

市ヶ谷リベラルアーツセンターでは、カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリーを作成しています。以下から確認することができますので、履修の際には、本冊子、WEB シラバスとあわせて、ぜひ参考にしてください。

URL : <http://www.hoseikyoiku.jp/ilac/index.html>

カリキュラム・マップ	ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目と学習到達目標の相関関係を表で示したもの	
カリキュラム・ツリー	学習目標を達成するために、ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目がどの分野、年次に配当されているなどを図で示したもの	

カリキュラム
2014～2016年度入学者用

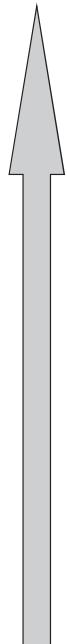
専門科目の履修

キャリアデザイン学部では、人が生涯にわたってたどる人生の軌跡の総体を「キャリア」として捉え、自己のキャリアを自律的・主体的にデザインするとともに、さまざまなかたちで他者のキャリア形成を支援する能力を身につけていきます。その際、とくにキャリアの設計・再設計をめぐる調査・研究を進めることができる知識・能力の養成を重視すると同時に、講義型科目および体験型科目双方を車の両輪としたカリキュラムを用意しています。こうしたカリキュラムを系統的に履修・学習することによって、自ら社会に働きかけていくことができる人材の育成を目指しているのです。

本学部では、キャリア形成の代表的な場として、(1)発達・教育キャリア領域（教育組織や人の発達など生涯学習社会におけるキャリア形成）、(2)ビジネスキャリア領域（人材育成や組織マネジメントなど産業社会におけるキャリア形成）および(3)ライフキャリア領域（家族や地域コミュニティなど生活に密接した場におけるキャリア形成）という三つの領域を設けています。専門性の高いキャリアデザイン研究を行うためには、基盤となる知識群について広く学際的に学んだ上で、一定の領域に絞って、専門的な知識群を深く学んでいく必要があります。このため、本学部のカリキュラムでは、基盤となる知識群を履修・学習した上で、上記(1)～(3)のいずれかの領域を選択し、当該領域を重点的に学ぶことによって高度な専門性をもった知識を身に付けるように体系づけられています。

科目履修の設計に際しては、卒業後の進路を念頭に置くとともに、学部教育を通じてどのような力をつけたいかを考え、履修計画を立ててください。そのために確認したいことや質問したいがあれば、キャリアアドバイザーや基礎ゼミの担当教員等に相談して下さい。

本学部のカリキュラムの全体像については、下記の「カリキュラムの全体図」をご覧ください。



4年秋学期	学生研究発表会				
演習科目 2年秋学期～	専門演習(セミ 2年秋学期～)・卒業論文(4年) キャリアデザイン学総合演習(4年) ※演習全10単位・卒論4単位				
展開科目 (プログラム科目) 2年春学期～ ※52単位以上 (選択した領域で36単位以上)	教育と社会 現代教育思想 教育社会学 I・II など 学校教育と地域学習 学校論 I～IV 生涯学習論 I・II など 発達と学習 キャリアカウンセリング I～III 生涯発達心理学 I・II など 発達・教育キャリア領域	産業社会 労働経済学 職業キャリア論 など 集団・組織 戦略経営論 I・II 経営組織論 I・II 経営分析論 I・II など 個人・人間 産業・組織心理学 I・II 人材育成論 I・II リーダーシップ論 など 外書講読(2クラス)	多文化・グローバル社会 多文化社会論 I～III 国際関係論 I・II 国際地域研究 I・II など 文化マネジメント アート・マネジメント論 ミュージアム概論 など 自己・他者・関係 アイデンティティ論 家族論 コミュニティ社会論 I・II など 外書講読(2クラス)	体験型選択必修科目 2年春学期～	ペア科目 キャリアサポート実習 キャリア体験学習 キャリア体験学習(国際) 多文化教育 I・II メディアリテラシー実習 I・II 地域学習支援 I・II(学部認定資格)
基幹科目 1年～ ※20単位以上	キャリアデザイン学入門(2単位 必修) キャリア研究調査法(2単位選択必修) :①質的調査 ②量的調査 入門系科目(全24単位中、各自が選択した領域から8単位全て履修する) 発達・教育キャリア入門A～D/ビジネスキャリア入門A～D/ライフキャリア入門A～D 共通基幹科目 キャリアモデル・ケーススタディ 労働法など				
市ヶ谷基礎科目 ※36単位以上	基礎ゼミ(必修) 情報処理演習 必修外国語 等				



関連科目	◆資格課程科目 (教職・図書館司書・博物館学芸員・社会教育主事) ◆日本語教育関係科目 ◆国際コミュニケーション語学 ◆経営学部主催科目 ◆国際文化学部主催科目 ◆人間環境学部主催科目
------	---

自由科目	他学部公開科目 ERP科目 交換留学生学習プログラム・日本入門科目(旧:ESOP科目) グローバル・オープン科目 インターン・ボランティア 短期語学研修
------	--

1 科目の構成

上記の「カリキュラムの全体図」に沿って、具体的にカリキュラムの内容について説明していきます。

キャリアデザイン学部の科目は、領域とグレードという二種類の軸に従って配置されています。まず、領域とは、(1)発達・教育キャリア領域、(2)ビジネスキャリア領域、および(3)ライフキャリア領域、という三領域によって構成されます（上記全体図の横軸）。

(1)発達・教育キャリア領域では、人間発達、学校教育および学習社会における基本的な概念や理論を理解すると同時に、多様な現場実習によって、臨床的・実践的な基礎能力とスキルの向上を目指しています。(2)ビジネスキャリア領域では、働くこと、すなわちワークキャリアについて理解を深め、自らの働き方だけでなく働く場のあり方について、自ら研究を深めていくことを目標とします。(3)ライフキャリア領域では、私たちの生活に密着する家族やコミュニティについて理解を深め、社会の「仕組み」を読み解く視点を育てることを目標としています。この他、三領域に含まれない科目群として「関連科目」があります。これはキャリアに関連した教職や資格等に結びついた科目や生涯学習に必要なスキル（技能）を養成する科目が配置されています。

続いて、グレードは、基礎から応用までの相対的な位置を示します（上記全体図の縦軸）。基礎から応用に向かって、①基幹科目、②展開科目および③演習科目があり、これらの科目とは別に④体験系科目があります。以下、各グレード・領域別に、履修上、留意すべき点について説明します。

2 基幹科目

基幹科目は、本学部における学習目標を実現するため、基礎的・基盤的知識の修得を目指します。

まず、「基礎ゼミ」、「キャリア研究調査法」および「キャリアデザイン学入門」の三科目は必修科目です。これらのうち、「基礎ゼミ」と「キャリア研究調査法」は、少人数のゼミ形式で行われ、大学における学習の基礎的スキルや、キャリア研究調査の方法論をさまざまな演習をまじえて丁寧に学ぶ場です。

入門系科目は、(1)発達・教育キャリア領域、(2)ビジネスキャリア領域、(3)ライフキャリア領域に応じて配置してあります。上述のとおり、上級学年に至ると、(1)～(3)のいずれかの領域を重点的に学びますが、その基盤となる知識を修得する科目です。したがって、入門系科目の履修は、上級学年時に、重点的に学びたい領域を想定して行ってください。

共通基幹科目は、(1)～(3)の領域において共通に必要とされるものです。

3 展開科目

展開科目では、上記基幹科目の知識の上に、各自、三領域のうちのいずれかに重点を置き、専門的な知識を修得していきます。以下では、各領域別に、科目構成の特徴を説明します。

(1) 発達・教育キャリア領域

発達・教育領域は、(a)教育と社会、(b)学校教育と地域学習、(c)発達と学習に分けられます。(a)教育と社会はマクロ的な視点、(b)学校教育と地域学習はメゾ的な視点、(c)発達と学習はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

(a) 教育と社会には、「現代教育思想」、「教育社会学Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。人間は真空の世界に生きているわけではありません。社会とのかかわりの中で生きています。これらの科目では、教育や学習における歴史・制度・文化などの影響や諸外国との比較などを扱います。

(b) 学校教育と地域学習には、「学校論Ⅰ～Ⅳ」、「生涯学習論Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。学校や地域といった単位が対象です。学校による違いや地域による違いは、発達や教育を考える上でも重要なテーマとなります。

(c) 発達と学習には、「キャリアカウンセリングⅠ～Ⅲ」、「生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。教員がクラスルームで教える場面や、1対1で相談を行う場面など、相互対面的な単位になります。

(2) ビジネスキャリア領域

ビジネスキャリア領域の科目は、(a)産業社会、(b)集団・組織および(c)個人・人間に分けられます。(a)産業社会はマクロ的な視点、(b)集団・組織はメゾ的な視点、(c)個人・人間はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

(a) 産業社会には、「労働経済学」、「職業キャリア論」などの科目があります。社会全体、市場および産業といった単位が対象です。労働市場における需要と供給の関係をはじめ、ワークキャリアを取り巻く社会経済関係

にマクロ的にアプローチします。

- (b) 集団・組織には、「戦略経営論 I・II」、「経営組織論 I・II」、「経営分析論 I・II」などの科目があります。ワークキャリアを形成する場、すなわち企業という単位が対象です。企業はどのような仕組みや論理に基づいて経営されているかなど、ワークキャリアを形成する場である企業の経営について多角的に理解していきます。
- (c) 個人・人間には、「産業・組織心理学 I・II」、「人材育成論 I・II」、「リーダーシップ論」などの科目があります。個人あるいは人間といった単位が対象です。働く人の感情、考え、振る舞いなどに焦点をあてます。ワークキャリアを形成する個人あるいは人間という単位にミクロ的にアプローチしていきます。

(3) ライフキャリア領域

ライフキャリア領域の科目は、(a)多文化・グローバル社会、(b)文化マネジメントおよび(c)自己・他者・関係に分けられます。(a)多文化・グローバル社会はマクロ的な視点、(b)文化マネジメントはメゾン的な視点、(c)自己・他者・関係はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

- (a) 多文化・グローバル社会には、「多文化社会論 I～III」、「国際関係論 I・II」、「国際地域研究 I・II」などがあります。より広い範囲で、自己のキャリアと社会がつながりうることを知り、国際交流や文化比較なども視野に入れて学んでいきます。
- (b) 文化マネジメントには、「アート・マネジメント論」、「ミュージアム概論」などの科目があります。文化やアートなどを通して、人びとや地域社会がいかにつながっていくのか、人びとの生活やまちづくりにおいて、文化活動の意味や位置づけはどういったものか、などをテーマとします。
- (c) 自己・他者・関係には、「アイデンティティ論」、「家族論」、「コミュニティ社会論 I・II」などの科目があります。自己が他者や社会とつながることについて、身近なコミュニティや家族などの生活を通して、キャリア形成や自己理解を含めて学びます。

4 演習科目

1年次春学期には、本学部で学ぶための基礎的な能力（アカデミック・スキルの基礎）を修得するための少人数授業として「基礎ゼミ」を設置しています。この授業は、20名程度の人数で、各クラス共通した内容で行います。

1年次秋学期には、「キャリア研究調査法（質的調査）」、「キャリア研究調査法（量的調査）」を設置しています。この科目は、自らデータを収集して分析する能力を養うことを目的としており、2年次秋学期からの「キャリアデザイン学演習」への橋渡しをする科目です。1年次秋学期に「キャリア研究調査法（質的調査）」と「キャリア研究調査法（量的調査）」のいずれかを履修することが必須です。2年次にもう一方を履修することも可能であり、推奨します。

2年次秋学期から4年次秋学期までの「演習」は、学生が自らの専門性向上のために主体的に学び合う、少人数形式の授業です。担当教員により進め方は様々ですが、学生によるプレゼンテーションやディスカッションを中心として行われ、教員は助言や支援、コーディネーションなどの役割を担うのが主たる形式です。

1年次の「基礎ゼミ」とは異なり、授業内容は、各担当教員の専門分野に沿った、多様なものとなっています。学生が、自分の関心のある専門領域に関する理解を深め、研究を行うことを目的としています。担当教員により異なりますが、原則として、本学部での学びの集大成として、4年次には卒業研究として卒業論文の提出が求められます。

「演習」は、(1)発達・教育キャリア、(2)ビジネスキャリア、(3)ライフキャリアの三領域に担当教員が配分され、学生自身が希望する担当教員1名を選んで応募する形をとっていますが、少人数形式という科目の特性上、応募者が多い場合には教員による選考により履修者が決定されます。

また、3～4年次の科目として、これまでの学びの集大成として、(1)発達・教育キャリア、(2)ビジネスキャリア、(3)ライフキャリアの三領域を横断してキャリアデザインを研究する「キャリアデザイン学総合演習」を配置しています。キャリアデザイン総合演習の履修は必須ではありませんが、本学部で培った幅広い視野でキャリアデザインを研究する総合性の高い科目として、意欲ある学生の履修を期待しています。

演習 履修決定の手続きとスケジュール（予定）

履修決定は5月～7月にかけて行います。詳細なスケジュールは後日掲示でお知らせします。

5 体験型選択必修科目

卒業要件には、卒業所用単位数を満たすだけではなく、それらの中に「体験型選択必修科目」が4単位以上含まれていることが謳われています。「体験型選択必修科目」は、ほぼすべての科目で教室を離れて人やコミュニティと直接かかわる活動を行います。「事前指導」や「I」を先に履修し単位を取得した後、「実習」や「II」を履修するもので、春学期と夏学期、ペアで履修することが必要です。また、教室外での実習を伴うため、授業に真摯に取り組む態度が求められます。「体験型選択必修科目」には合わせて六つのペア科目があるので、前掲の「体験型選択必修科目」一覧表で確認してください。以下では、体験型科目の三つについて紹介します

＜キャリアサポート事前指導・キャリアサポート実習＞

キャリアデザイン学部は自らのキャリアをデザインするとともに、人のキャリアデザインをサポートする能力を養成することを目指しています。そのため、このペア科目では、学内外でさまざまなサポート活動を行いながら、その活動を通じて学ぶという体験を中心に行っています。そのサポート活動を実際に行うのが「キャリアサポート実習」ですが、そのための意識や知識、スキルなどをしっかりと身に付けるために事前に行うのが「キャリアサポート事前指導」です。

「キャリアサポート事前指導」では、人の話を「聴く」ことからはじめ、他者との円滑なコミュニケーションの方法を学びます。ディスカッションの進行役（ファシリテーター）を経験したり、他者のキャリア形成をサポートするためのプログラムを実際に作成したりします。必要に応じて学期の途中で実習を行うことがあります。

「キャリアサポート事前指導」での学びがあった上で、「キャリアサポート実習」では、実際にさまざまな現場でサポート活動を行います。主に高校に出かけ、高校生たちとともにキャリア教育や進路相談をテーマにしたワークショップを行います。この活動体験の成果はレポートにまとめて提出し、指導教員やキャリアアドバイザーからコメントをもらうほか、成果報告会で発表し、受講学生同士で互いにコメントするなどして振り返りを行います。

キャリアデザイン学部の専門科目には、活動しながら学ぶ授業が多く設けられています。それらに臨むためにも、ぜひこの科目を通じて、必要な力をつけてください。

＜キャリア体験事前指導・キャリア体験学習／キャリア体験事前指導（国際）・キャリア体験学習（国際）＞

これら2つの体験学習ペア科目は、国内外の一般企業（多種多様な業種）、非営利団体（N P O）、自治体その他の公共機関や各種業界団体等のさまざまな職場において、一定期間に実際の業務を体験すること（インターンシップ）、あるいはそういった機関で活動する人との課題解決学習や協働活動等を通じて、多様な文化や価値観に触れ、仕事に対する感覚や理解を涵養し、自分自身のキャリアデザインの一助とする目的としています。

キャリア体験学習は、主に企業における就業体験をメインに行います。企業や団体の現場で実際に働く経験をするインターンシップ型とグループで企業の課題解決に取り組むプロジェクト型の授業があります。インターンシップ型のAコース（実習先を学部で用意する）とBコース（実習先を履修生が自主開拓する）、プロジェクト型のCコース（中小製造業との産学連携活動として実習する）の3つのコースがあります。

キャリア体験学習（国際）では、ベトナム（ホーチミン）、台湾（台北）でのキャリア体験学習を実施します。訪問する国の実情に合わせて、インターンシップだけではなく、文化体験や企業訪問、現地の大学生との協働活動など、多様ななかでキャリア体験学習を実施します。

実習が中心となるのはもちろんですが、実習先の概要や仕事の中身などについて各自で調べ、学習することも不可欠です。また実習の成果については、公開でプレゼンテーションを行ったり、報告書にまとめて公表したりします。それぞれのクラスの特徴をよく理解したうえで応募してください。

地域学習支援Ⅰ・Ⅱの履修と「地域学習支援士」の認定について

(1) 地域学習支援Ⅰ・Ⅱ

この科目は、現代の地域社会でニーズが高まっている地域学習支援の方法について学び、多様な職業分野で期待されている学習支援者としての専門性を習得することを目的としています。具体的には、地域づくり学習、ユースワーク、多文化理解、コミュニティ・メディア、地域文化創造、フィールドミュージアムなどの学習活動分野のプログラム編成、組織運営マネジメントなどについて理論面と実際面から学び、コーディネーターとして地域社会のネットワークの形成や地域活性化に寄与しうる力量を形成することをめざします。地域学習支援Ⅱでは、それぞれの分野ごとに専門の教員が指導をおこないます。

地域学習支援のマネジメントやコーディネーターの専門性は、国・自治体、公共機関の職員はもとより、地場産業や観光・サービス関連産業の事業経営、一般企業の地域貢献、経済団体連合会や商工会議所などの地域振興事業、自立支援・地域づくり・文化・環境分野などのNPO市民活動、グローバルな交流にとりくむ国際機関・NGO活動などにおいて幅広く求められています。地域学習支援に関わる専門性を身につけて多様な職業分野への就業力を高めるとともに、NPOやボランティア活動などにも参加して、勤労者・市民として社会を担う実際的な知識や行動力を培うことを目的とします。

この科目は学部認定資格「地域学習支援士」資格を取得する場合には必修です。もちろん、資格取得に関係なく、体験型選択必修科目として履修することができます。

(2) 学部独自の認定資格「地域学習支援士」について

別表に示すように、地域学習支援Ⅰ・Ⅱ合わせて4単位と選択必修科目8単位及び選択科目18単位の合計30単位を履修した学生には、4年次の卒業単位認定の時期に、所定の申請手続きを経て、学部から「地域学習支援士」資格取得の認定証が交付されます。この資格の取得を履歴書などに明記することができます。

本学部では教職・社会教育専門職などの国家資格を取得することができますが、地域学習支援士はこれらに加え、より多様な職業分野における新たな現代的、社会的ニーズに対して、「学びを通じて人を支援する」専門性を身につけていふことを学部として認定するものです。

別表 地域学習支援士資格認定科目

(2014～2016年度入学者用)

共通必修科目 (4単位)	地域学習支援 I 地域学習支援 II
選択必修科目 (8単位)	生涯学習論Ⅲ・Ⅳ（成人教育論Ⅰ・Ⅱ） 学校論Ⅲ（キャリア教育）・Ⅳ（キャリア教育） 多文化教育Ⅰ・Ⅱ キャリアカウンセリングⅠ・Ⅱ メディア教育論Ⅰ・Ⅱ アート・マネジメント論・文化経営論 メディアリテラシー実習Ⅰ・Ⅱ ミュージアム概論 ミュージアム経営論
選択科目 (18単位)	生涯学習論Ⅰ・Ⅱ 社会教育活動Ⅰ・Ⅱ NPO論 ミュージアム教育論 メディア文化論 多文化社会論Ⅲ 情報メディアの活用 ファシリテーション論 図書館情報資源概論・図書館情報資源特論 ミュージアム情報・メディア論 産業文化論 文化マーケティング論 家族論 若者の自立支援 特別活動論 生徒・進路指導論 世代間交流論 職業選択論Ⅰ・Ⅱ アジア社会論Ⅰ・Ⅱ アントレプレナーシップ論Ⅰ・Ⅱ シティズンシップ論

6 自由科目

「他学部公開科目」「ESOP科目」「ERP科目」「グローバル・オープン科目」「インターン・ボランティア」「短期語学研修」が該当します。卒業までに16単位が上限で自由科目として履修可能です。ただし受講資格と単位認定は以下のとおりそれぞれ異なりますので、履修の際は十分注意してください。また、自由科目として修得した単位はセメスター・年間の履修登録上限単位数の対象となります（インターン・ボランティア、短期語学研修は対象外）。

（1）他学部公開科目

受講資格は2・3・4年次生に限られます。詳細は、Webシラバス（講義概要）を参照してください。

（2）ESOP科目

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。ただし、2016年度以前に1～2年生として受講した授業に対し、さかのぼって単位認定はできません。海外から受け入れた交換留学生用の、日本という国に関わるテーマをとりあげた英語の講義・ゼミです。履修要綱は学部窓口にて配布します。開講科目など詳しくはグローバル教育センター事務部国際交流課（E-mail:ic@hosei.ac.jp、電話番号:03-3264-9402）に問い合わせてください。

（3）ERP科目

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。ただし、2016年度以前に1～2年生として受講した授業に対し、さかのぼって単位認定はできません。英語による少人数（10名～20名）・双方向授業を授業形態として実施されている、英語4技能（listening、speaking、reading、writing）の養成とその統合を目的とした授業です。卒業所要単位として単位修得することを希望する場合、履修登録時に指定すると自由科目として履修できます。履修要綱はグローバル教育センターのホームページで確認してください。開講科目等、詳しくはグローバル教育センター事務部グローバルラーニング課（E-mail:global@hosei.ac.jp、電話番号:03-3264-4088）に問い合わせてください。

（4）グローバル・オープン科目

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。ただし、2016年度以前に1～2年生として受講した授業に対し、さかのぼって単位認定はできません。法政大学が「世界のどこでも生き抜く力を身につけたグローバル社会のリーダー」を育成するために2016年度から全学で開講されている学部横断型の科目群です。詳細は、グローバル教育センターのホームページで確認してください。

（5）インターン・ボランティア

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。

グローバル教育センターが主催している「国際インターンシップ」「国際ボランティア」プログラムです。実施されるプログラムは実施期間により異なります。詳細はグローバル教育センターのホームページで確認してください。

（6）短期語学研修

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。

グローバル教育センターが主催している集中語学研修です。実施されるプログラムは実施期間により異なります。詳細はグローバル教育センターのホームページで確認してください。